

子育てをみんなで支えるまち 酒田

## 酒田市子育て支援行動計画（後期計画）

平成25年度 進捗状況

平成26年7月

# 目 次

|  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| <b>基本施策1 地域で子育てを支援する環境づくり</b>  | <b>1</b>                          |
| 施策の方向性 1 地域における子育て支援サービスの充実<br>◆重点課題 1 地域子育て支援機能の充実<br>◆重点課題 2 子育て支援ネットワークの強化<br>◆重点課題 3 子育ての負担軽減  | 1<br>1<br>2<br>2                  |
| 施策の方向性 2 保育サービスの充実<br>◆重点課題 1 特別保育事業の充実<br>◆重点課題 2 効率的運営による保育サービスの充実<br>◆重点課題 3 保育の質の向上<br>◆重点課題 4 幼稚園における保育サービスへの支援   | 3<br>3<br>4<br>4<br>4             |
| 施策の方向性 3 子どもと保護者の居場所づくりの推進<br>◆重点課題 1 学童保育の充実<br>◆重点課題 2 地域の育児力の向上   | 4<br>4<br>5                       |
| <b>基本施策2 次代を担う若者を支援する環境づくり</b>   | <b>6</b>                          |
| 施策の方向性 1 子育ての喜びを実感できる環境づくり<br>◆重点課題 1 思春期から生命の大切さ子育ての楽しさを伝える活動の充実  | 6<br>6                            |
| 施策の方向性 2 若者の生活基盤整備の支援<br>◆重点課題 1 若者への就労支援<br>◆重点課題 2 男女の出会い・交流の場づくりへの支援<br>◆重点課題 3 就学に対する支援  | 6<br>6<br>7<br>7                  |
| <b>基本施策3 親と子の健康を守る環境づくり</b>  | <b>8</b>                          |
| 施策の方向性 1 安心して妊娠、出産ができる体制の整備<br>◆重点課題 1 妊娠・出産を意識した健康管理の推進<br>◆重点課題 2 安心して出産できるための各種施策の実施<br>◆重点課題 3 妊娠・出産・産後の相談体制の充実<br>◆重点課題 4 子育ての協力体制の充実<br>◆重点課題 5 男性の育児参加の推進<br>◆重点課題 6 外国籍をもつ保護者などへの支援の充実 | 8<br>8<br>8<br>9<br>9<br>10<br>10 |
| 施策の方向性 2 子どもの成長に合わせた支援体制の充実<br>◆重点課題 1 子どもの成長に合わせた支援体制の充実<br>◆重点課題 2 安心して子育てができる体制の整備<br>◆重点課題 3 家庭での生活習慣の確立   | 10<br>10<br>11<br>12              |
| 施策の方向性 3 食育の推進<br>◆重点課題 1 家庭と保健、教育、福祉などとの連携による食育の推進  | 12<br>12                          |

|  |                            |
|--|----------------------------|
| <b>基本施策4 子どもの心身の健やかな成長のための学習環境づくり</b>  | <b>14</b>                  |
| 施策の方向性 1 子どもの生きる力の育成に向けた学校などの教育環境の整備<br>◆重点課題 1 確かな学力の育成<br>◆重点課題 2 豊かな心の育成<br>◆重点課題 3 健やかな身体の育成<br>◆重点課題 4 安全・安心な学校環境の充実<br>◆重点課題 5 幼児教育の充実 | 14<br>14<br>16<br>16<br>16 |
| 施策の方向性 2 家庭や地域の教育力の向上<br>◆重点課題 1 家庭教育への支援の充実<br>◆重点課題 2 地域の教育力の向上<br>◆重点課題 3 健全育成指導者の養成  | 17<br>17<br>18<br>19       |
| 施策の方向性 3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進<br>◆重点課題 1 関係機関・団体や地域との連携による有害環境対策の推進   | 19<br>19                   |
| <b>基本施策5 子育てにやさしく安全な生活環境づくり</b>  | <b>20</b>                  |
| 施策の方向性 1 良好な住居環境の確保<br>◆重点課題 1 子育て世帯に配慮した住居環境の整備   | 20<br>20                   |
| 施策の方向性 2 安全で安心な生活環境の整備<br>◆重点課題 1 安全な道路環境の整備<br>◆重点課題 2 子育て世帯にやさしい施設環境の整備  | 20<br>20<br>20             |
| <b>基本施策6 男女が子育てしやすい就労環境づくり</b>   | <b>21</b>                  |
| 施策の方向性 1 仕事と子育ての両立に向けた多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し<br>◆重点課題 1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進<br>◆重点課題 2 事業所などの子育てしやすい職場環境づくりへの支援                      | 21<br>21<br>21             |
| 施策の方向性 2 男女共同による子育ての促進<br>◆重点課題 1 男女共同参画の視点による学習と意識啓発  | 22<br>22                   |
| <b>基本施策7 子供に安全なまちの環境づくり</b>  | <b>23</b>                  |
| 施策の方向性 1 交通安全教育の推進<br>◆重点課題 1 成長段階に応じた交通安全教育の推進<br>◆重点課題 2 家庭への交通安全教育の推進   | 23<br>23<br>23             |
| 施策の方向性 2 子供を犯罪や災害の被害から守るための活動と被害にあった子どもの保護の推進<br>◆重点課題 1 子どもの犯罪被害防止活動と防犯・防災教育の推進<br>◆重点課題 2 被害にあった子どもの保護や支援の充実                               | 23<br>23<br>24             |
| <b>基本施策8 特別な支援を必要とする子どもをきめ細やかに支える環境づくり</b>   | <b>25</b>                  |
| 施策の方向性 1 児童虐待防止対策の充実<br>◆重点課題 1 関係機関の連携による児童虐待防止対策の充実  | 25<br>25                   |
| 施策の方向性 2 ひとり親家庭などの自立支援の推進<br>◆重点課題 1 ひとり親家庭などに対する支援の充実<br>◆重点課題 2 ひとり親家庭などの社会参加の支援   | 26<br>26<br>26             |
| 施策の方向性 3 障がい児施策の充実<br>◆重点課題 1 早期発見・早期療育支援体制の充実<br>◆重点課題 2 発達障がいに関する支援と連携強化<br>◆重点課題 3 障がい児支援サービスの充実<br>◆重点課題 4 特別支援教育の充実                     | 26<br>26<br>27<br>27<br>28 |

基本施策1 地域で子育てを支援する環境づくり

施策の方向性 1 地域における子育て支援サービスの充実

| No.   | 具体的施策  | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                    | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性  | 今後の<br>予定 |
|---|--|----------------|------------------------|--|----------------|--|-----------|
| ◆重点課題 1 地域子育て支援機能の充実 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |  |                |                        |  |                |  |           |
| 1   | 育児相談窓口の周知  | 継続             | 子育て支援課<br>健康課          | 親子ふれあいサロン、子育て支援センター、家庭児童相談室のチラシ、子育てハンドブックを配布している他、母子健康手帳交付時の周知、広報、ホームページ、すくすく手帳による周知を行った。  | B              | 今後も事業PR、業務の紹介を継続する。また、転入者への対応を含め、関係機関、関係課との連携を図っていく。       | 拡充        |
| 2   | 地域子育て支援拠点施設の育児相談や交流機能の充実   | 拡充             | 子育て支援課                 | 1. 利用状況<br>親子ふれあいサロン 49,350人<br>子育て支援センター 18,579人<br>つどいの広場 9,450人<br>2. 相談件数<br>親子ふれあいサロン 246件<br>子育て支援センター 1,255件<br>つどいの広場 507件         | B              | 利用しやすい相談環境づくりと利用者拡大に向けたPRと子育てサークルの育成支援をする。                 | 継続        |
| 3   | 地域子育て支援拠点施設、家庭児童相談室、市民健康センター、児童相談所、教育委員会、保育園、幼稚園などと連携し、子育て相談や情報交換活動の充実 | 拡充             | 子育て支援課<br>健康課<br>学校教育課 | 児童センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、家庭児童相談室の情報交換会を開催した。また、乳幼児健診、各種教室、保育園・幼稚園訪問、ケース検討会等を通して連携を図っている。   | B              | 広く情報交換を行うために参集範囲、効果的な会の持ち方を検討する。                           | 拡充        |
| 4   | 家庭児童相談室における相談機能及び支援体制の充実   | 拡充             | 子育て支援課                 | 市の家庭児童相談室設置運営要綱により2名の家庭相談員を配置している。   | B              | 研修等への参加による相談員自身の研鑽をはじめ、関係機関との連携を図りながら相談者との信頼確保を中心に進める。     | 継続        |
| 5   | 保育園、幼稚園における地域子育て支援拠点活動の充実  | 拡充             | 子育て支援課                 | 園会報の配布や夏祭り等のイベントを地域に開放、子育て支援センターを併設する保育園では、「遊びの場」、「集い・出合いの場」、「相談の場」、「情報提供の場」となっている。  | B              | 地域と連携しながら、子育て支援拠点機能を果たしていく。                                | 継続        |
| 6   | 保育園、幼稚園における未就園児童や保護者の支援の実施   | 新規             | 子育て支援課                 | 離乳食の食事体験や園開放による遊び体験や子育て相談に応じることで支援をした。   | B              | 支援を継続していく。   | 継続        |
| 7   | 地域子育て応援団の育成など、地域での子育てに関する気運の醸成   | 拡充             | 子育て支援課                 | 主任児童委員及び民生委員や地域との連携による地域における子育て応援団事業が3地区で実施され、参加延べ人数385人となった。現在10団体が各地域で活動が続いている。  | B              | 新たな子育て応援団を育成していくほか、補助期間終了後の子育て応援団のフォローアップを検討する。            | 継続        |
| 8   | ファミリー・サポート・センターの機能強化と、利用促進に向けた周知活動の強化                                  | 拡充             | 子育て支援課                 | 1. 会員数の状況<br>利用会員 389人(9人増)<br>協会員 94人(3人増)<br>両方会員 26人(2人減) 計509人<br>2. 利用受付状況<br>1,256件(32件減)<br>3. 周知活動<br>3か月健診時に事業PR。チラシ配布(計24回、677人) | B              | 利用申込、会員数は堅調に推移しているが、さらに会員を増やすためのPRと安全に病後児に預かり対応するための検討を行う。 | 継続        |
| 9   | 地域子育て支援拠点施設などへの子育てアドバイザー(仮)の配置   | 新規             | 子育て支援課                 | 未実施  | D              | 子育て相談員が相談等を行っており、一定の効果がある。子育てアドバイザーの設置について検討が必要。           | 継続        |
| 10  | 地域子育て支援拠点施設において活動を行うNPO法人、子育てサークルなどの育成と活動への支援                          | 拡充             | 子育て支援課                 | 県の市町村総合交付金を活用して、子育て支援事業を行うNPO法人、子育てサークル計3団体を支援した。  | B              | 実施団体に対して助言相談等の支援を継続する。                                     | 継続        |
| 11  | 子育て支援サービスに携わる者の研修機会の充実   | 新規             | 子育て支援課                 | 保育士、幼稚園教諭を対象に、保育力・教育力向上セミナーを開催、市内保育士を対象にした保育力向上研修会を開催した。   | B              | 子育てを支援していくために、支援する側のレベルアップは不可欠であるため継続する。                   | 継続        |

| ◆重点課題 2 子育て支援ネットワークの強化 |  | 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |                        |  |   |   |    |
|------------------------|--|---|------------------------|--|---|---|----|
| 12                     | 交流ひろばを拠点に、子育て関連事業に対する総合的な支援  | 拡充  | 子育て支援課                 | 子育てサークルの活動場所として交流ひろばを提供した。各地域の子育て関連事業のチラシ、ポスターを掲示したり、職員による情報提供を行った。  | B | 「遊び」、「集い、出会い」、「相談」、「情報提供」の拠点とした活動を展開していく。                             | 継続 |
| 13                     | 地域子育て支援拠点施設、家庭児童相談室、市民健康センター、児童相談所、教育委員会、保育園、幼稚園などと連携し、子育て相談や情報交換活動の充実(再掲) | 拡充  | 子育て支援課<br>健康課<br>学校教育課 | 児童センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、家庭児童相談室の情報交換会を開催した。また、乳幼児健診、各種教室、保育園・幼稚園訪問、ケース検討会等を通して連携を図っている。   | B | 広く情報交換を行うために参集範囲、効果的な会の持ち方を検討する。                                      | 拡充 |
| 14                     | 子育て支援サービスに携わる者の研修機会の充実(再掲)   | 新規  | 子育て支援課                 | 保育士、幼稚園教諭を対象に、保育力・教育力向上セミナーを開催、市内保育士を対象にした保育力向上研修会を開催した。   | B | 子育てを支援していくために、支援する側のレベルアップは不可欠であるため継続する。                              | 継続 |
| 15                     | 地域子育て支援拠点施設において活動を行うNPO法人、子育てサークルなどの育成と活動への支援(再掲)                          | 拡充  | 子育て支援課                 | 県の市町村総合交付金を活用して、子育て支援事業を行うNPO法人、子育てサークル計3団体を支援した。  | B | 実施団体に対して助言相談等の支援を継続する。  | 継続 |
| 16                     | 主任児童委員及び民生委員や地域との連携による相互子育て支援体制構築の検討                                       | 拡充  | 子育て支援課                 | 主任児童委員及び民生委員や地域との連携による地域における子育て応援団事業が3地区で実施され、参加延べ人数385人となった。現在10団体が各地域で活動が続いている。  | B | 新たな子育て応援団を育成していくほか、補助期間終了後の子育て応援団のフォローアップを検討する。                       | 継続 |
| 17                     | 子育て支援に関する専用ホームページの構築の検討  | 新規  | 子育て支援課                 | 県の子育て応援情報発信事業である庄内地区の子育て支援専門のホームページ「TOMONI」(H23.3開設)に情報を掲示した。  | B | 本ホームページはアクセス数が多く、情報発信力は極めて高い。このため、県、関係市町とも連携して引き続きPR、掲示情報の充実を図る。      | 継続 |
| 18                     | 市ホームページ、子育てハンドブック、子育てカレンダー、乳幼児カレンダーによる情報提供                                 | 拡充  | 子育て支援課<br>健康課          | 子育てカレンダーを毎月配布し、市HPに掲載した。H25年度子育てハンドブックを作成し配布した。乳幼児カレンダーにより情報提供を行った。  | B | 見やすくわかりやすい内容となるように留意し情報提供を行う。ホームページは定期的に更新し新たな情報を提供して行くほか、適切な情報提供を行う。 | 拡充 |
| ◆重点課題 3 子育ての負担軽減       |  | 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |                        |  |   |   |    |
| 19                     | 子育て支援医療の充実   | 拡充  | 子育て支援課                 | 乳幼児から中学生及びひとり親家庭等に対し、医療費の負担を軽減するために医療を給付した。平成25年4月から通院費の無料対象を小学3年生まで拡大した。  | B | 子育て支援医療については、平成26年4月から通院費の無料対象を小学6年生まで拡大。継続して負担軽減を図る。                 | 継続 |
| 20                     | 子ども手当・児童手当の給付  | 新規  | 子育て支援課                 | 中学校修了前の子どもを養育する方に手当を支給した。<br>3歳未満 15,000円/月<br>3歳以上小学生まで 第1～2子10,000円/月 第3子以降15,000円/月<br>中学生 10,000円/月<br>受給者が所得制限を超過のとき 5,000円/月       | B | 継続して適切に支給を行う。   | 継続 |
| 21                     | 保育園入園家庭への保育料軽減の継続  | 継続  | 子育て支援課                 | 同時入所(幼稚園・認定こども園・知的障がい児通園施設等を含む)に限り、第2子は3分の1負担、第3子以降は無料とし負担の軽減をした。  | B | 継続して適切に支給を行う。   | 継続 |
| 22                     | 幼稚園就園家庭への経済的負担軽減の充実  | 継続  | 子育て支援課                 | 私立幼稚園就学奨励事業、私立幼稚園にこころ子育て支援事業を実施した。   | B | 継続して適切に支給を行う。   | 継続 |
| 23                     | 多胎児家庭への支援の充実   | 拡充  | 子育て支援課                 | 3人以上の多胎児がいる家庭に対し、満3歳になるまでの期間、多胎児支援員を派遣し、育児や家事の介助を行う事業。H25は対象者がいなかった。   | B | 三つ子以上の多胎児を対象としているため、出生実績がないが、保護者の身体的、精神的不安を解消するために必要な支援であり、継続する。      | 継続 |
| 24                     | ファミリー・サポート・センターの機能強化と、利用促進に向けた周知活動の強化(再掲)                                  | 拡充  | 子育て支援課                 | 1 会員数の状況<br>利用会員 389人(9人増)<br>協力会員 94人(3人増)<br>両方会員 26人(2人減) 計509人<br>2 利用受付状況<br>1,256件(32件減)<br>3 周知活度<br>3か月健診時に事業PR。チラシ配布(計24回、677人) | B | 利用申込、会員数は堅調に推移しているが、さらに会員を増やすためのPRと安全に病後児に預かり対応するための検討を行う。            | 継続 |
| 25                     | 一時預かり事業の充実と情報提供  | 拡充  | 子育て支援課                 | チラシ・ホームページ等で広報した。  | B | 必要な保育士と費用の確保に努めながら充実と情報提供を行う。   | 継続 |

|    |                                     |    |        |   |   |  |    |
|----|-------------------------------------|----|--------|---|---|--|----|
| 26 | 短期入所生活援助（ショートステイ）事業などの支援制度の周知       | 継続 | 子育て支援課 | 子育てハンドブックを配布し周知を図った。  | B | 適正な利用を図る。  | 継続 |
| 27 | 子育て講演会による、育児に関する情報提供や知識向上のための取組みの充実 | 拡充 | 子育て支援課 | 関係課と協力し、菊池桃子氏を講師に子育て講演会を開催、400人が参加した。   | B | 状況にあったテーマを設定しながら、子育てを支援していくために、市民全体の理解と取り組みを図っていく。 | 継続 |
| 28 | 地域子育て応援団の育成など、地域での子育てに関する気運の醸成（再掲）  | 拡充 | 子育て支援課 | 主任児童委員及び民生委員や地域との連携による地域における子育て応援団事業が3地区で実施され、参加延べ人数385人となった。現在10団体が各地域で活動が続いている。 | B | 新たな子育て応援団を育成していくほか、補助期間終了後の子育て応援団のフォローアップを検討する。    | 継続 |

## 施策の方向性 2 保育サービスの充実

| No.   | 具体的施策                              | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                  | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)  | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性  | 今後の<br>予定 |
|---|------------------------------------|----------------|----------------------|---|----------------|--|-----------|
| ◆重点課題 1 特別保育事業の充実 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |                                    |                |                      |   |                |  |           |
| 29  | 産休・育休取得後などの年度途中の入所ニーズに対する適切な対応     | 拡充             | 子育て支援課               | 定員管理と認可保育所入所調整を適正に実施した。   | B              | 0歳児の入所ニーズが増加してきていて、保育士の確保ができず入所を待ってもらう場合がある。引き続き適正な定員管理と入所調整を行う。   | 継続        |
| 30  | 多様な就労環境に対応した保育園の開設時間の検討            | 拡充             | 子育て支援課               | 延長保育実施保育所の増加に努めた。   | B              | 引き続き、実施保育所の増加に努める。   | 継続        |
| 31  | 休日保育事業のモデル的实施                      | 新規             | 子育て支援課               | 25年度は未実施  | E              | 実施方法を検討する。   | 継続        |
| 32  | 夜間保育事業のモデル的实施                      | 新規             | 子育て支援課               | 未実施   | E              | 市民のニーズも捉えながら、実施について検討する。   | 継続        |
| 33  | 病児回復期児童の専用スペースによる保育実施の検討           | 新規             | 子育て支援課               | 病児・病後児保育を行っているあきほ病児・病後児保育所と病後児保育を行っている平田保育園の2園で事業を実施した。   | B              | 引き続き、病児・病後児保育を行っているあきほ病児・病後児保育所と病後児保育を行っている平田保育園の2園で事業を実施する。   | 継続        |
| 34  | 認可保育所での体調不良児対応の充実                  | 拡充             | 子育て支援課               | 八幡・亀ヶ崎・小鳩保育園で実施した。  | B              | 看護師・人件費の確保。対応園の拡充を図る。  | 継続        |
| 35  | 子どもの看護休暇制度普及に向けた周知活動の実施            | 拡充             | 子育て支援課               | 有川富二子氏（山形県男女共同参画センター相談員）を講師にワーク・ライフ・バランス関係のセミナーを開催した。   | B              | 関係機関、商工港湾課、商工会議所と連携して、セミナー・出前講座等の開催により、企業の子育てに対する意識高揚を図る。  | 継続        |
| 36  | ファミリー・サポート・センターにおける病児病後児の預かりの検討と実施 | 新規             | 子育て支援課               | 病児の預かりに対応するための会員研修会を実施し会員の病児対応の知識向上を図るとともに、病後児（回復期）の預かりも実施した。   | D              | 病児（急性期）の預かりについては、容体の急変への対応等協力会員の不安を払拭できない状況にある。今後も病児の預かりの研修をさらに進めるとともに、協力会員が引き受けることができる条件やバックアップの仕組みについても医療関係者の意見を聞きながら検討する。 | 継続        |
| 37  | 認可保育所における、障がい児の受け入れ環境の充実           | 拡充             | 子育て支援課               | 法人立保育園18箇所、市立保育園9箇所で障がい児等を受け入れた。  | B              | 障がい児受け入れ保育所への財政的支援と保育士に対して障がい児に関する研修への参加呼びかける。   | 継続        |
| 38  | はまなし学園との二重措置制度を活用した交流保育の推進         | 拡充             | 子育て支援課               | 松陵保育園等と二重在籍して交流し、より充実した発達支援を行った。  | B              | 二重在籍より充実した発達支援を行う。   | 継続        |
| 39  | 保育園、庄内児童相談所、家庭児童相談室などの関係機関との連携強化   | 拡充             | 子育て支援課<br>健康課<br>福祉課 | 子育て支援関連では、児童センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、家庭児童相談室の情報交換会を開催した。健康関連では、乳幼児健診、各種教室、保育園・幼稚園訪問、ケース検討会等を通して連携を図っている。また福祉関連では、発達支援室の実施する育ちのサポート事業、園内事例検討、個別相談、ケース検討、情報交換を行い、発達支援事業の拡充を図った。 | B              | 広く効果的な連携の在り方について検討し、発達支援関連では継続して実施する。  | 継続        |
| 40  | 一時預かり事業の環境整備の支援と周知                 | 拡充             | 子育て支援課               | チラシ・ホームページ等で広報した。（法人立保育園12園、市立保育園3園）  | B              | 必要な環境整備に努めながら周知を行う。  | 継続        |
| 41  | 短期入所生活援助（ショートステイ）事業の実施             | 継続             | 子育て支援課               | 保護者の疾病、出張、出産等の際に児童福祉施設への短期入所を実施した。  | B              | 利用者負担額の見直しを検討し、引き続き適正な利用を図る。   | 継続        |

| ◆重点課題 2 効率的運営による保育サービスの充実 |                            |    |        |  |   |   |    | 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |  |
|---------------------------|----------------------------|----|--------|--|---|---|----|---|--|
| 42                        | 市立保育園の民間(法人)移管の計画的実施       | 継続 | 子育て支援課 | 平成26年4月からの本橋保育園の民間移管に向けて、関係機関への説明とともに保護者説明会を開催し、円滑に移行できるように取り組んだ。        | B | 「子ども・子育て支援新制度」の動向を見据えながら、2年に1園を基準に民間移管を進める。 | 継続 |   |  |
| 43                        | 保育需要に見合った認可保育所の定員管理        | 継続 | 子育て支援課 | 家庭の状況、就労状況、各保育園の空き状況等を踏まえ入所調整を行った。                                       | B | 将来的な保育需要量を見極めながら、適正な入所調整を行う。                | 継続 |   |  |
| 44                        | 老朽度の高い園舎などについて耐震化を含めた計画的改修 | 継続 | 子育て支援課 | 浜田・若竹保育園の統合及び移転新築と、園児減少による八幡地区・平田地区の保育園統合に向けた検討を行った。                     | B | 施設面積等と今後の園児数の推移を見据えた検討が必要である。               | 継続 |   |  |
| 45                        | 認可外保育所の指導・支援の充実            | 拡充 | 子育て支援課 | 7施設の立入調査を実施し、指導を行った。また、3施設に対して補助金を交付した。新制度により認可保育園に移行希望する2園に対し、補助金を交付した。 | B | 今後とも補助金を交付する。                               | 継続 |   |  |

| ◆重点課題 3 保育の質の向上 |                                   |    |                 |  |   |   |    | 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |  |
|-----------------|-----------------------------------|----|-----------------|--|---|---|----|---|--|
| 46              | 「保育園における質の向上のためのアクションプログラム」の実践と推進 | 新規 | 子育て支援課          | 保育の質の向上のために、市立保育園では、研修会を2回、食育研究と自己評価の研修を東北公益文科大学教授を招聘して実施。食育研究を県の保育研究大会において報告した。市内の全保育所、幼稚園職員を対象に、保育力向上のための「エピソード記述」の研修会を実施した。 | B | 子どもの最善の利益を守るために、保育士の保育力、保育の質の向上は、必要不可欠のものであり、普遍的に取り組むべきものであることから、取り組みは継続していく必要がある。幼稚園の参加が少ないのが課題。 | 継続 |   |  |
| 47              | 保育園、幼稚園などの研修内容の充実と、合同研修会などの機会の充実  | 拡充 | 子育て支援課          | 保育士、幼稚園教諭を対象に、保育力・教育力向上セミナーを開催、市内保育士を対象にした保育力向上研修会を開催した。   | B | 子育てを支援していくために、支援する側のレベルアップは不可欠であるため継続する。  | 継続 |   |  |
| 48              | 国の幼保一体化の動きに対する適切な対応               | 継続 | 子育て支援課<br>学校教育課 | 国県の動向に関して情報収集を行った。   | B | 平成27年度の新制度施行に向けて、国や県の動向についてより一層注意を向けていくと共に関係課との連携を強化していく。   | 継続 |   |  |

| ◆重点課題 4 幼稚園における保育サービスへの支援 |   |    |        |  |   |  |    | 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |  |
|---------------------------|---|----|--------|--|---|--|----|---|--|
| 49                        | 幼稚園における幼児教育活動の紹介                              | 拡充 | 子育て支援課 | 交流ひろばで各幼稚園の活動紹介資料の掲示、配布を行った。                         | B | 幼稚園の活動の紹介を継続する。                                      | 継続 |   |  |
| 50                        | 幼稚園での預かり保育への支援の検討                             | 新規 | 子育て支援課 | 新制度により認定こども園に移行を希望する2園に対し補助金を交付した。                   | B | 国の子ども・子育て支援新制度の動向を注視しながら、継続する。                       | 継続 |   |  |
| 51                        | 保育園、幼稚園、地域子育て支援拠点施設などの職員による各種保育サービス内容の情報共有の推進 | 新規 | 子育て支援課 | 児童センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、家庭児童相談室の情報交換会を3回開催した。 | B | 多種多様なケースに対応するためのそれぞれの役割での認識を共有できるように、継続していくことが重要である。 | 継続 |   |  |
| 52                        | 幼稚園就園家庭への経済的負担軽減の充実(再掲)                       | 継続 | 子育て支援課 | 私立幼稚園就学奨励事業、私立幼稚園にこころ子育て支援事業を実施して負担軽減をした。            | B | 継続して負担軽減を図る。   | 継続 |   |  |

### 施策の方向性 3 子どもと保護者の居場所づくりの推進

| No.             | 具体的施策                                 | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課    | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)  | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性                                 | 今後の<br>予定 |   |  |
|-----------------|---------------------------------------|----------------|--------|---|----------------|---|-----------|---|--|
| ◆重点課題 1 学童保育の充実 |                                       |                |        |   |                |   |           | 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |  |
| 53              | 地域の盛り上げりに配慮した学童保育所未設置地区への設置検討         | 継続             | 子育て支援課 | 南遊佐学区で平成26年度に向けて設置の検討をしたものの、利用希望者が少なく設置に至らなかった。                           | B              | 今後とも計画的に設置していく。                           | 継続        |   |  |
| 54              | 学童保育所の開所時間の延長や長期休暇のみの利用などの利用ニーズへの対応検討 | 新規             | 子育て支援課 | 平田学区学童保育所で早朝延長保育モデル事業を実施した(平日の希望がなかったため長期休暇のみ実施)。利用状況は夏休期間は3名、冬休みは4名であった。 | B              | ニーズ調査の意向を踏まえるとともに、事業の実施に向けた体制づくりについて検討する。 | 継続        |   |  |
| 55              | 学童保育所の環境整備による障がい児の受け入れの推進             | 継続             | 子育て支援課 | 学童保育所4か所で障がい児を受け入れた。  | B              | 障がい児受け入れへの財政的支援と指導員に対して障がい児に関する研修を実施する。   | 継続        |   |  |

|  |  |    |                             |  |   |  |    |
|--|--|----|-----------------------------|--|---|--|----|
| 56   | 学童保育指導員の資質の向上のための研修の充実                                 | 拡充 | 子育て支援課                      | 酒田市学童保育連絡協議会を通して年2回の研修会を実施した。  | B | 今後も研修の充実を図っていく。  | 継続 |
| 57   | 学童保育所の耐震化などの整備推進                                       | 継続 | 子育て支援課                      | 松原学区学童保育所の実施設計を行った。  | B | 今後も計画的に整備していく。   | 継続 |
| ◆重点課題 2 地域の育児力の向上  |  |    |                             |  |   |  |    |
| 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |  |    |                             |  |   |  |    |
| 58   | 交流ひろばを拠点とした、子育て関連事業に対する総合的な支援の推進(再掲)                   | 継続 | 子育て支援課                      | 子育てサークルの活動場所として交流ひろばを提供した。各地域の子育て関連事業のチラシ、ポスターを掲示したり、職員による情報提供を行った。                        | B | 「遊び」、「集い、出会い」、「相談」、「情報提供」の拠点とした活動を展開していく。  | 継続 |
| 59   | 地域子育て支援拠点施設の周知と交流の場としての機能の充実                           | 拡充 | 子育て支援課                      | 児童センター、子育て支援センター等のPRのため、チラシの配布、コミュニティFMによる周知を行うとともに、「交流の場」としての利用を図った。                      | B | 子育て支援拠点のPRの継続と機能の充実を図っていく。   | 継続 |
| 60   | 保育園、幼稚園の地域の子育て支援拠点機能を果たすための取組みの推進                      | 継続 | 子育て支援課                      | 園会報の配布や夏祭り等のイベントを地域に開放、子育て支援センターを併設する保育園では、「遊びの場」、「集い・出会いの場」、「相談の場」、「情報提供の場」として利用された。      | B | 地域と連携しながら、子育て支援拠点機能を果たしていく。  | 継続 |
| 61   | 地域子育て応援団の育成など、地域での子育てに関する気運の醸成(再掲)                     | 拡充 | 子育て支援課                      | 主任児童委員及び民生委員や地域との連携による地域における子育て応援団事業が3地区で実施され、参加延べ人数385人となった。現在10団体が各地域で活動を続けている。          | B | 新たな子育て応援団を育成していくほか、補助期間終了後の子育て応援団のフォローアップを検討する。  | 継続 |
| 62   | 児童図書室の図書などの充実と、市内施設での様々な団体による読み聞かせの推進                  | 拡充 | 図書館<br>子育て支援課               | 図書の選定では、その内容や利用が多く見込まれる等の要件により適切な選定を行いながら充実を図った。また、児童センター、子育て支援センター等で読み聞かせを実施した。           | B | 図書の選定にあっては関係団体との情報交換による状況の把握と推進を目指す。読み聞かせについては、3か月健診時に実施するブックスタート事業でも実施する。               | 継続 |
| 63   | 児童の読書普及を図るための図書館ボランティア活動への支援                           | 継続 | 図書館                         | 読み聞かせ団体(「あさの葉会」「絵本の部屋」)への活動支援を行った。外部からの問い合わせ等の窓口となった。                                      | B | 図書館事業と直接関わりのある団体は限定されているため他の団体との連携の強化を図る。  | 継続 |
| 64   | 子育て支援の場、屋外の遊び場としての、保育園、幼稚園、学校、自治会館、コミュニティ防災センターなどの利用推進 | 継続 | 子育て支援課<br>学校教育課<br>まちづくり推進課 | コミュニティ防災センター等の使用料の減免による子育てサークル等の活動を支援した。また、コミュニティ振興会補助金(事業割)の対象として、各コミュニティ振興会で子育て支援事業を行った。 | B | 子育てサークルやコミュニティ振興会等の活動促進のために引き続き支援する。   | 継続 |
| 65   | 地域で行われる伝承遊び、伝統芸能の継承活動、スポーツ活動などへの交流事業への支援               | 継続 | 社会教育課                       | 旧公民館地区の25コミュニティ振興会に委託事業として実施した。コミュニティ振興会が主体となって、児童と地区住民の交流(昔遊び・伝統芸能の継承・世代間交流)を行った。         | B | 社会教育指導員が定期的に各地区コミュニティ振興会に定期的に伺い、情報交換と相談体制を確立する。  | 継続 |
| 66   | 地域での子育て支援に対する学習機会の充実と、実践者の研修の実施                        | 拡充 | 子育て支援課<br>社会教育課             | 菊池桃子氏を講師に子育て講演会を開催、400人が参加した。また、小・中学校の保護者を対象に、講演・実技等で構成された「地域家庭教育講座」20講座を開催した。             | B | 状況にあったテーマを設定しながら、子育てを支援していくために、市民全体の理解と取り組みを図っていく。また、地域家庭教育講座も各小中学校と連携しながら今後も継続して実施していく。 | 継続 |

基本施策2 次代を担う若者を支援する環境づくり

施策の方向性 1 子育ての喜びを実感できる環境づくり

| No.   | 具体的施策  | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                                | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)  | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性  | 今後の<br>予定 |
|---|--|----------------|------------------------------------|---|----------------|--|-----------|
| ◆重点課題 1 思春期から生命の大切さ子育ての楽しさを伝える活動の充実                             |  |                |                                    |   |                |  |           |
| 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |  |                |                                    |   |                |  |           |
| 67  | 保育園、幼稚園、地域子育て支援拠点施設などでの、中・高校生を対象とした乳幼児とのふれあいの機会の充実         | 拡充             | 子育て支援課<br>健康課                      | 実習生の受け入れのほか、支援センターでは市内高校生の選択授業や部活動の受け入れをし、乳幼児とのふれあいや母親たちの話を聞く機会を設けた。  | B              | 今後も、次世代の子育てを担う若者に対し、子育てや結婚、家族愛についての意識付けとイメージアップを図ることで、少子化を緩和を図っていく必要がある。 | 継続        |
| 68  | 看護師、幼稚園教諭、保育士などを目指す学生への体験活動の場の提供                           | 拡充             | 子育て支援課<br>健康課                      | 保育実習生の市立保育園への受け入れや、看護学生の実習受け入れを行った。   | B              | 受け入れを継続する。   | 継続        |
| 69  | 各学校と連携し、子育ての現状、健康づくり(生活習慣病、飲酒、喫煙、薬物乱用防止、ダイエット、性など)に関する情報提供 | 継続             | 健康課<br>教育委員会管理課<br>学校教育課           | 学校保健委員会などで情報提供を行ったほか、国などからの啓蒙チラシや文書などを学校に配布し、周知を図った。また、健康教育の充実を各学校に指導し、工夫した指導がなされている。   | B              | 引き続き提供を受けた情報を確実に周知していくとともに、健康教育の重要性を伝え、指導の徹底を図る。                         | 継続        |
| 70  | 各学校の取組に応じて、母子保健関連事業を学習の場に活用できる体制整備                         | 継続             | 教育委員会管理課<br>学校教育課<br>健康課<br>子育て支援課 | 各校で生活科、総合的な学習の時間、保健、家庭科、道徳などでの学習を行った。   | B              | 関係機関と連携し、生活科、総合的な学習の時間、保健、道徳等での学習を推進していく                                 | 継続        |
| 71  | 男女が共同して子育てを行うことの意義や、喜びを理解するための学習機会の充実                      | 拡充             | 子育て支援課<br>健康課<br>まちづくり推進課<br>学校教育課 | 菊池桃子氏を講師に子育て講演会、男女共同参画推進市民フォーラムを開催、400人が参加した。マタニティ教室を9回開催し、259人(夫96人)が参加した。男女共同参画推進センター「ウィズ」の運営、推進員の配置、ウィズ講座で関連講座を実施した。各学校で生活科、総合的な学習の時間、保健、家庭科、道徳などでの学習を行った。 | B              | 状況にあったテーマを選択するなど内容を充実させながら、児童から一般、子育て世帯まで幅広い対象に向けた学習機会の提供を引き続き行っていく。     | 継続        |
| 72  | 父性、母性を育て、両性の理解を深めるための保健学習の充実                               | 拡充             | 健康課<br>子育て支援課<br>教育委員会管理課<br>学校教育課 | 父性、母性を育て、両性の理解を深めるための保健学習を行った。各学校で生活科、総合的な学習の時間、保健、家庭科、道徳などでの学習を行った。  | B              | 関係課や関係機関と連携しながら、生活科、総合的な学習の時間、保健、道徳等での学習を推進していく。                         | 継続        |

施策の方向性 2 若者の生活基盤整備の支援

| No.   | 具体的施策   | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課   | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)                | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性  | 今後の<br>予定 |
|---|---|----------------|-------|---|----------------|--|-----------|
| ◆重点課題 1 若者への就労支援  |   |                |       |   |                |  |           |
| 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |   |                |       |   |                |  |           |
| 73  | ハローワーク、若者就職支援センター、商工会議所、商工会などの関係機関との連携による若者への就労支援 | 継続             | 商工港湾課 | 酒田地区雇用対策協議会による模擬面接会等の実施、ハローワーク主催就職面接会への協力をした。 | B              | 関係機関との連携を深め、若者への就労支援を継続していく。                               | 継続        |
| 74  | インターンシップなどによる高校生の職業能力開発や適性にあった職業選択への支援策の検討        | 継続             | 商工港湾課 | 就職希望の高校生を対象とした各種就職支援セミナーを実施した。                | B              | 実施学校との密接な連携によるニーズに即したセミナー等の事業企画する。                         | 継続        |
| 75  | U・Jターンを希望する若者への就労支援策の検討                           | 継続             | 商工港湾課 | U・Jターン希望者に対する無料職業紹介事業の実施、庄内就職ガイダンスの開催した。      | B              | 平成26年度7月よりU・Jターン人材バンクの取扱業種を拡大し周知活動を行う。また、庄内就職ガイダンスの継続実施する。 | 拡充        |



|    |                                 |    |       |   |   |   |    |
|----|---------------------------------|----|-------|---|---|---|----|
| 76 | 地元事業所育成や企業誘致による就業機会の拡大の推進       | 継続 | 商工港湾課 | 新商品・新技術の開発・研究の活用、市外で開催される見本市・商談会参加等の経費の助成をした。<br>工場等を新設・拡充・移転するための用地取得費の助成をした。また、(株)フレスター・インターナショナルの採算開始など雇用の場が大きく拡充した。 | A | 新規企業立地及び地場産業の育成には欠かせない事業であり継続していく。            | 継続 |
| 77 | 新規就農希望者への就農支援や農業後継者に対する技術研修への支援 | 継続 | 農政課   | 酒田市青年就農給付金(経営開始型)事業実施要綱に基づき、新規就農者を支援した。H25年度交付実績 10名(新規就農3名) 14,250千円   | B | 酒田市青年就農給付金(経営開始型)事業実施要綱に基づき、引き続き新規就農者を支援していく。 | 継続 |
| 78 | 漁業後継者の育成や活動への支援                 | 継続 | 農林水産課 | 現在、平成6年度以降の貸付金の利子補給を実施している。<br>H19.5.21に漁業者・漁協・水産高校・県・市・町等関係者で、山形県漁業就業確保育成協議会(事務局:水産課)を設置し、就業者の確保に取組んだ。                 | B | 支援策を継続していく。                                   | 継続 |

◆重点課題 2 男女の出会い・交流の場づくりへの支援 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施)

|    |                           |    |          |  |   |   |    |
|----|---------------------------|----|----------|--|---|---|----|
| 79 | 市民活動団体などによる若者の交流の場づくりへの支援 | 継続 | まちづくり推進課 | 公益活動支援センター(市民と行政の協働のまちづくりの拠点施設)を拠点に交流の場作りの支援をした。           | B | 登録団体の拡大を図りながら、公益活動団体の活動支援、体力の強化。活動拠点として引き続き支援していく。  | 継続 |
| 80 | 結婚支援推進員による男女の出会いの機会の創出    | 継続 | まちづくり推進課 | 結婚支援推進員が、結婚を望む独身男女209組に対し出会いの場を提供し、仲介役となって活動し、10組が成婚に至った。  | B | 結婚サポートセンターを設置し、結婚推進員を配置する。また、結婚サポーター(結婚支援推進員より呼称変更)の増加を図りながら、継続して支援していく。また、婚活に取り組む企業・団体等と連携し、オール酒田で婚活を推進していく。 | 拡充 |
| 81 | 農業青年出会い・交流創設事業の実施         | 継続 | 農業委員会    | 酒田市でのイベント、交流パーティを2回、庄内地区合同の交流パーティを1回実施。90名が参加し21組のカップルが成立。 | B | 農業体験などの農業委員会らしさを出した婚活イベントを増やしていくとともに、より効果的な婚活支援を実施していく。   | 継続 |

◆重点課題 3 就学に対する支援 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施)

|    |                    |    |                       |  |   |   |    |
|----|--------------------|----|-----------------------|--|---|---|----|
| 82 | 就学に対する各種制度の周知と利用促進 | 拡充 | 教育委員会管理課<br><br>学校教育課 | ①準要保護児童生徒に対し、給食費の扶助並びに学校病の治療に使用できる医療券を交付した。24年度に引き続き、震災避難児童生徒に対しても、希望により準要保護児童生徒と同様の取扱いにした。<br>②私立高等学校に在学している生徒の授業料等に係る保護者等の経済的な負担軽減を図るため、私立高等学校生徒授業料軽減補助金交付を実施。県内の私立高等学校16校に協力を求めるとともに広報等により周知を図った(交付件数:112件)<br>③本市出身の学生の大学等修学に係る経済的支援を図るため、大学等修学資金利子補給金交付を実施。市内金融機関、大学・短大等に協力を求めるとともに広報等により周知を図った(交付件数:71件)<br>④本市出身の学生の大学修学に係る経済的支援を図るため、京野教育振興基金大学修学奨学金交付を実施。各高等学校に協力を求めるとともに広報等により周知を図った(交付件数:6件)<br>⑤各種制度について、就学相談や入学説明会の場面で説明を行った。 | B | ①準要保護児童生徒並びに震災避難児童生徒に対して、これまでと同様学校を通して周知を行い、利用促進を図っていく。<br>②継続して制度の周知を図っていく。国・県の類似制度とのバランスを考慮しながら支援のあり方を検討していく。<br>③継続して制度の周知を図っていく。交付手続きの簡素化を検討していくとともに、交付金額(上限:年額4万円)についても検討していく。<br>④継続して制度の周知を図っていく。基金を原資としているため、基金が無くなった場合の対応について検討していく。<br>⑤各種相談会、説明会の際に周知を進める。 | 継続 |
|----|--------------------|----|-----------------------|--|---|---|----|

基本施策3 親と子の健康を守る環境づくり

施策の方向性 1 安心して妊娠、出産ができる体制の整備

| No.  | 具体的施策                            | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課 | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)  | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性   | 今後の<br>予定 |
|--|----------------------------------|----------------|-----|---|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 妊娠・出産を意識した健康管理の推進 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施)   |                                  |                |     |   |                |   |           |
| 83   | 16歳以上40歳未満対象の若年者健康診査の実施          | 継続             | 健康課 | 酒田市独自として、職場等で検診のない若年者を対象に、健康への関心と生活習慣病予防を目的に健康診断を実施した。                                  | B              | 検診受診者が横ばい、減少傾向のため、受診者数を増やすための啓発と健診日の拡充を検討する必要がある。                     | 継続        |
| 84   | 若年女性への骨密度測定と骨粗しょう症の予防教育の実施       | 継続             | 健康課 | 平成23年度より庄内健診センターに骨粗しょう症健診を委託し、健康診断受診時に一緒に受診できるようにした。平成25年度も継続して取り組みを行った。                | B              | 骨粗しょう症健診を受けやすい環境となったが、受診者数は横ばいの傾向のため、受診者数を増やす啓発等を検討しながら、当面これを継続する。    | 継続        |
| 85   | 健康診査実施後に事後指導教室の開催                | 継続             | 健康課 | 40歳以上の特定健診においてメタボリックシンドロームの該当者・予備群に区分された者に対して保健師・管理栄養士による計画的指導を行った。                     | B              | 特定保健指導を継続すると共に、運動の実践を取り入れたメタボ予防教室、ウォーキング、筋カトレーニングなどを組み合わせた健康教育を充実させる。 | 継続        |
| ◆重点課題 2 安心して出産できるための各種施策の実施 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |                                  |                |     |   |                |   |           |
| 86   | 早期妊娠届出の周知徹底                      | 継続             | 健康課 | 広報等で周知及び医療機関での情報提供が行われた。市民健康センターは平日終日開催。支所は月2回開設、希望により随時交付。平成25年度738件。早期妊娠届け出(11週以内)85% | B              | 広報、ホームページで周知を図っていく。   | 継続        |
| 87   | 母子健康手帳活用の普及及び手帳交付時の相談の充実         | 拡充             | 健康課 | 交付時に手帳の活用や妊娠中の定期健診の重要性や健康管理について説明した。  | B              | 10代の妊娠、未入籍等リスクが増える傾向にあるため、不安を軽減し無事出産が迎えられるように支援していく。                  | 継続        |
| 88   | 母子健康管理指導事項連絡カード利用の普及             | 継続             | 健康課 | 就労妊婦に対し母子健康手帳交付時に説明した。  | B              | 出産や子育てについて、職場環境が厳しいものがあるため、支援体制の充実を図る。                                | 継続        |
| 89   | たばこが母体に及ぼす影響の説明                  | 継続             | 健康課 | 母子手帳交付時たばこが母体に及ぼす影響の説明を行った。妊婦の喫煙率2.4%(妊娠して止めた14.5%)                                     | B              | 禁煙指導を継続して行っていく。   | 拡充        |
| 90   | ハイリスク妊婦の把握及び訪問活動の推進              | 拡充             | 健康課 | ハイリスク妊婦、医療機関からの連絡箋により担当保健師が訪問を行った。  | B              | 就労等で連絡がとりにくいケースがあるが、関係機関と連携し適時支援を行っていく。                               | 継続        |
| 91   | 夫婦が協力して妊娠、出産、育児ができるような家庭づくりへの支援  | 継続             | 健康課 | マタニティ教室は家族で参加しやすいように、日曜日と平日に開催した。25年度参加者は259人。母子手帳交付時にも説明した。                            | B              | 母子健康手帳交付、マタニティ教室等で継続して行っていく。  | 継続        |
| 92   | 妊娠届出の早期提出(満11週以内)による妊婦健康診査受診票の発行 | 継続             | 健康課 | 広報、ホームページ等で早期届け出を啓発した。早期妊娠届け出(11週以内)85%。一方、20週以降の届け出は1.0%。                              | B              | 広報、ホームページ等で早期の届け出を啓発していく。   | 継続        |
| 93   | 妊婦健康診査標準回数14回分の助成継続              | 継続             | 健康課 | 妊婦健康診査標準回数14回分の助成をした。   | B              | 安心して出産するために現状通りの助成を行っていく。   | 継続        |
| 94   | 妊婦健康診査の定期受診の勧奨と異常の早期発見の推進        | 継続             | 健康課 | 母子健康手帳交付時、定期受診の必要性について説明した。   | B              | 定期受診の確認と、医療機関との連携を図る。   | 継続        |
| 95   | ハイリスク妊婦への家庭訪問の実施                 | 拡充             | 健康課 | ハイリスク妊婦、医療機関からの連絡箋により担当保健師が訪問を行った。  | B              | 関係機関と連携し適時支援を行っていく。   | 継続        |
| 96   | 里帰り出産妊婦へのフォロー                    | 継続             | 健康課 | 他市町村の依頼書により訪問を行った。25年度39件。  | B              | 他市町村との連携し、依頼があった妊産婦に対し訪問を行っていく。                                       | 継続        |
| 97   | 母子相談室の相談窓口としての周知徹底               | 継続             | 健康課 | 妊娠届け出時、新生児訪問、マタニティ教室、市広報等で周知した。   | B              | 転入者等への対応を含め関係課と連携して対応していく。  | 継続        |
| 98   | 不妊治療に関する情報の提供や相談先の紹介             | 継続             | 健康課 | 山形県特定不妊治療費助成事業について相談先を紹介した。ホームページにも掲載した。  | B              | ホームページ、広報等で情報提供を行っていく。  | 継続        |
| 99   | 不妊治療費に対する助成拡大を要求                 | 継続             | 健康課 | 23年度から酒田市不妊治療助成開始。山形県不妊治療助成対象者に5万円を限度に助成。25年度申請者数92件                                    | B              | 県の要綱に合わせ上限5万円の助成を行っていく。助成額拡大について検討していく。                               | 継続        |

|   |  |    |               |  |   |   |    |
|---|--|----|---------------|--|---|---|----|
| 100   | マタニティビクス、ベビーマッサージなどの事業の実施                | 拡充 | 子育て支援課        | 児童センター、子育て支援センター事業でマタニティビクス、ベビーマッサージを実施した。   | B | 事業に参加できる妊婦の把握に努めながら、出産前後の子育て支援策として継続する。                           | 継続 |
| 101   | 市内で出産ができる医療機関の充実                         | 継続 | 健康課           | 日本海総合病院において周産期施設の機能充実が行われた。  | B | 医師会等に対し、周産期施設の充実について働きかけていく。                                      | 継続 |
| ◆重点課題 3 妊娠・出産・出産後の相談体制の充実重点課題 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |  |    |               |  |   |   |    |
| 102   | 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の実施               | 継続 | 健康課           | 全体の99.2%の訪問を行った。里帰り等については、訪問を他市町村に依頼した。  | B | 保護者と連絡を取りながら、全児の把握を行っていく。   | 継続 |
| 103   | 養育支援訪問事業の実施                              | 継続 | 子育て支援課<br>健康課 | 子ども家庭支援員が家庭訪問を行った。のべ訪問回数17回。   | B | 養育支援の訪問できる体制を維持する。  | 継続 |
| 104   | 健康診査や予防接種会場での育児相談                        | 継続 | 健康課           | 健診会場での育児相談を行った。平成25年度から予防接種の集団接種がなくなり個別接種となる。  | B | 各乳幼児健診で育児相談を実施している。乳幼児健診時に母子相談室の相談を充実していく。                        | 継続 |
| 105   | 乳幼児健康診査の問診票の事前送付                         | 継続 | 健康課           | 乳幼児健康診査の問診票の事前送付を行った。  | B | 生後1か月ですくすく手帳を送付している。3歳児健診については、事前に検査セットと一緒に送付している。転入者へは、他課と連携し対応。 | 継続 |
| 106   | 各種相談窓口の周知とスムーズな対応や連携の強化                  | 拡充 | 子育て支援課<br>健康課 | 親子ふれあいサロン、子育て支援センター等のチラシ、子育てハンドブックを配布し周知を図った。  | B | 今後も相談窓口のPR、関係機関の紹介を継続し、スムーズな対応や連携の強化を図る。                          | 継続 |
| 107   | 育児サークル活動の紹介                              | 継続 | 子育て支援課<br>健康課 | 「酒田市子育てカレンダー」に、児童センター事業、子育て支援センター事業とあわせて育児サークルを紹介し、サークルのチラシを児童センターに掲示した。また、訪問、乳幼児健診、健康相談時紹介している。 | B | 市内育児サークルの活動内容の把握とお便り、市広報に掲載し周知を図る。                                | 継続 |
| ◆重点課題 4 子育ての協力体制の充実 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施）           |  |    |               |  |   |   |    |
| 108   | 一時預かり事業、ファミリー・サポート・センターなどの子育て支援サービスの周知徹底 | 継続 | 子育て支援課<br>健康課 | 母子手帳交付時、訪問、乳幼児健診、健康相談時に制度の紹介をしたほか、3か月健診に参加してファミリーサポートセンターのPRをした。また、チラシ・ホームページ等でも広報した。            | B | 子育て世帯の負担を軽減するため、効果的な周知方法を検討しながら継続する。                              | 継続 |
| 109   | マタニティ教室への、夫・家族の参加勧奨                      | 継続 | 健康課           | 夫も参加しやすいように、日曜日と平日に開催した。25年度参加者259人。（夫96人）   | B | 参加しやすい内容を検討していく。  | 継続 |
| 110   | 地域子育て支援拠点施設の事業や相談機能の紹介                   | 拡充 | 子育て支援課<br>健康課 | 親子ふれあいサロン、子育て支援センター、家庭児童相談室のチラシ、子育てハンドブックを配布した。また、母子手帳交付時、訪問、乳幼児健診、健康相談時に紹介している。                 | B | 今後も事業PR、業務の紹介を継続する。   | 継続 |
| 111   | 地域子育て応援団の育成など、地域での子育てに関する気運の醸成（再掲）       | 拡充 | 子育て支援課        | 主任児童委員及び民生委員や地域との連携による地域における子育て応援団事業が3地区で実施され、参加延べ人数385人となった。現在10団体が各地域で活動を続けている。                | B | 新たな子育て応援団を育成していくほか、補助期間終了後の子育て応援団のフォローアップを検討する。                   | 継続 |
| 112   | 9か月児健康相談での親子遊びや本の読み聞かせを推進する活動の実施         | 継続 | 健康課<br>図書館    | ブックスタート事業は3か月児を対象とし、その後、1歳児までを対象にした「赤ちゃんの読み聞かせ体験」を開催。  | B | 好評であり、今後も継続して実施していく。  | 継続 |
| 113   | 1歳6か月児健康診査での心理相談員による小グループ対象の子育ての講話の実施    | 継続 | 健康課           | 1歳6か月児健康診査での心理相談員による小グループ対象の子育て講話を実施した。  | B | 好評であり、今後も継続して実施していく。  | 継続 |
| 114   | 地域子育て支援拠点施設事業と母子保健事業との連携強化               | 拡充 | 子育て支援課<br>健康課 | 子育て支援センターでの健康相談、健康教室、育児講座を行っている。母子手帳交付、乳幼児健診で施設の周知を図っている。  | B | 今後も情報提供しながら連携を強化していく。   | 継続 |

| ◆重点課題 5 男性の育児参加の推進         |  | 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |                         |   |   |   |    |
|----------------------------|--|---|-------------------------|---|---|---|----|
| 115                        | 父親の育児理解と育児力向上のための学習機会の充実               | 新規  | 子育て支援課<br>健康課<br>※社会教育課 | 「パパと一緒に」を4回実施（前期2回、後期2回）父と子の交流を深め、家庭においても父親の育児参加のきっかけにつなげる。参加しやすい日曜日に実施し、延べ104人が参加した。 | B | 子ども同士はもちろん、父親同士の交流も深められるような内容の工夫も必要。                              | 継続 |
| 116                        | 地域子育て支援拠点施設での、親子の遊び方教室など父と子が参加できる事業の充実 | 新規  | 子育て支援課                  | 「パパと作ろうおいしいそば」など、父と子が参加できる事業を実施した。  | B | 父親の育児理解を進めるために継続する。   | 継続 |
| 117                        | マタニティ教室への、夫・家族の参加促進（再掲）                | 継続  | 健康課                     | マタニティ教室：父親が参加しやすいように、日曜日と平日に開催。25年度参加者259人。（夫96人）                                     | B | 参加しやすい内容を検討していく。  | 継続 |
| ◆重点課題 6 外国籍をもつ保護者などへの支援の充実 |  | 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |                         |   |   |   |    |
| 118                        | 外国籍の妊産婦への家庭訪問実施                        | 継続  | 健康課                     | 対象者がいなかった。  | C | 対象者がいる場合、市民交流推進室と連携し訪問する。   | 継続 |
| 119                        | 外国語版母子健康手帳の有効な活用                       | 継続  | 健康課                     | 外国語版母子健康手帳の交付できる体制をとっている。   | B | 日本語の母子健康手帳と一緒に交付する。   | 継続 |
| 120                        | ボランティア通訳の利用促進                          | 継続  | 健康課<br>まちづくり推進課         | 子育てに関するボランティア通訳の要望はなかった。また、国際交流ボランティアの募集に努めた。   | C | 制度の周知を図り、利用しやすくする。また、ボランティア登録者も引き続き募集していく。                        | 継続 |
| 121                        | 市民交流推進室との連携による、情報の共有化と支援活動の実施          | 継続  | 健康課<br>まちづくり推進課         | 国際交流推進員等が相談対応するとともに支援した。  | B | 情報交換・支援までに至るケースは少ないが、必要に応じ、健康課との連携・情報交換を深め、相談対応に努めるとともに、支援を図っていく。 | 継続 |

## 施策の方向性 2 親子の健康の増進

| No.                        | 具体的施策   | 継続<br>拡充<br>新規  | 担当課        | 25年度 取り組み状況<br>（実施の有無、成果、進捗状況）                          | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性                      | 今後の<br>予定 |
|----------------------------|---|---|------------|---|----------------|--------------------------------|-----------|
| ◆重点課題 1 子どもの成長に合わせた支援体制の充実 |   | 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |            |   |                |                                |           |
| 122                        | 3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査、9か月児健康相談、2歳児歯科健診の実施           | 継続  | 健康課        | 3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査、9か月児健康相談、2歳児歯科健診を実施した。              | B              | 未受診児の受診勧奨と確認を行っていく。            | 継続        |
| 123                        | 9か月児健康相談での親子遊びや本の読み聞かせを推進する活動の実施（再掲）              | 継続  | 健康課<br>図書館 | ブックスタート事業は3か月児を対象とし、その後、1歳児までを対象にした「赤ちゃんの読み聞かせ体験」を開催。   | B              | 好評であり、今後も継続して実施していく。           | 継続        |
| 124                        | 1歳6か月児、2歳児歯科、3歳児健診時のブラッシング指導と虫歯予防に関する情報提供、栄養指導の実施 | 拡充  | 健康課        | 歯科健診、ブラッシング指導、栄養指導を実施した。                                | B              | 妊娠期、乳児期からむし歯予防に関しての情報を提供していく   | 継続        |
| 125                        | 乳幼児健康診査・健康相談時の問診票の活用によるハイリスク家庭の早期把握と関係機関との連携      | 継続  | 健康課        | 乳幼児健診等において、ハイリスク家庭を把握し、関係機関と連携をとった。                     | B              | 早期把握と連携体制を強化していく。              | 継続        |
| 126                        | 各種予防接種、ポリオ、BCGの集団あるいは個別摂取の実施                      | 継続  | 健康課        | 全て個別接種となる。四種混合、麻しん風しん、日本脳炎、二種混合、ヒブ、肺炎球菌、子宮頸がん予防接種を実施した。 | B              | 全て個別接種となるため接種勧奨を行い接種率の向上を図る。   | 継続        |
| 127                        | 摂取率の向上促進に向けた健康診査などでの予防接種状況確認と勧奨及び個別通知による勧奨        | 継続  | 健康課        | 未接種者に対し個別通知を送付、医療機関、学校へ協力をお願いした。                        | B              | 未接種者へ接種勧奨、関係機関との連携をとり接種率向上を図る。 | 継続        |
| 128                        | 予防接種に関する正しい情報の提供                                  | 継続  | 健康課        | 広報、ホームページで情報提供した。学校、医療機関との連携をとっている。                     | B              | 関係機関と連携し情報提供していく。              | 継続        |
| 129                        | 任意接種のワクチン接種に対する助成についての検討                          | 新規  | 健康課        | 風しん流行に伴い妊娠を希望する女性、妊婦の家族を対象に風しん抗体検査、予防接種への助成事業を行った。      | B              | 平成26年度は、継続して実施。                | 継続        |

|     |   |    |                      |   |   |  |    |
|-----|---|----|----------------------|---|---|--|----|
| 130 | 1歳6か月児健康診査要フォロー児教室（ひよこ教室）、3歳児健康診査要フォロー児教室（にこにこ教室）での発育相談と育児相談の実施 | 継続 | 健康課                  | 1歳6か月児健康診査要フォロー児教室（ひよこ教室）年間6回33組、3歳児健康診査要フォロー児教室（にこにこ教室）年間4回13組の相談に応じた。               | B | 訪問、保育園訪問等で確認をとりながら参加勧奨していく。  | 継続 |
| 131 | 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の実施（再掲）                                  | 継続 | 健康課                  | 全体の99.2%の訪問を行った。里帰り等については、訪問を他市町村に依頼した。   | B | 保護者と連絡を取りながら、全児の把握を行っていく。  | 継続 |
| 132 | 出生届出の際の出生連絡票提出の周知徹底   | 継続 | 健康課                  | 母子手帳交付時に説明した。市民課窓口でも周知を行った。   | B | 引き続き市民課窓口で出生連絡票提出の勧奨を行う。   | 継続 |
| 133 | 地区担当保健師などによる、園の定期訪問での発育・発達相談の実施と、関係機関の支援連携の強化                   | 拡充 | 福祉課<br>健康課<br>子育て支援課 | 育ちのサポート事業を中心として個別に相談、ケース検討、情報交換を行っている。  | A | 訪問回数の増加希望があるが業務量の課題が大きいので、園内での体制の充実をバックアップする支援も充実させる必要がある。                                       | 拡充 |
| 134 | 事業所内保育所、認可外保育所における訪問活動の検討                                       | 新規 | 健康課<br>子育て支援課        | 認可外保育所3か所の訪問を実施し、乳幼児健康診後のフォロー等の確認をした。また、育ちのサポート事業を中心として相談、ケース検討、情報交換を行い、相談があった園へ訪問した。 | B | 各保育所への周知と状況の把握をし、訪問を実施する。健康課と子育て支援課に加え、福祉課とも連携を進める。  | 継続 |
| 135 | フォローの支援体系図を作成し、役割分担を明確にした支援の充実                                  | 新規 | 福祉課<br>健康課<br>子育て支援課 | 自立支援協議会の発達支援部会を開催したが、市全体のフォロー体系図作成までは至っていない。発達支援室内部ではフォロー体系のイメージができつつある。              | D | 役割分担を明確にし効果的支援を行っていく。市役所内関係課におけるフォローの支援体系図の作成が必要かを協議していきたい。                                      | 継続 |
| 136 | 養育支援訪問事業の実施（再掲）   | 継続 | 子育て支援課<br>健康課        | 子ども家庭支援員が家庭訪問を行った。のべ訪問回数17回。  | B | 養育支援の訪問できる体制を維持する。   | 継続 |
| 137 | 発達障がいに関する相談会の実施（あそびの教室など）                                       | 継続 | 子育て支援課<br>福祉課<br>健康課 | 遊びの教室を10回実施し、相談と小集団活動の場の提供を行った。発達支援室において、幅広くいろいろな相談に対応した。                             | B | 遊びの教室では発達の課題の有無にかかわらず子育てへの不安を抱えている保護者にも対象を広げていくとともに、三支所の子育て支援センターでも6回開催し、対象児増加への対応と地域格差の解消を図りたい。 | 拡充 |

◆重点課題 2 安心して子育てができる体制の整備 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施）

|     |   |    |                             |   |   |   |    |
|-----|---|----|-----------------------------|---|---|---|----|
| 138 | 日本海総合病院への救命救急センターの整備促進と救急体制の充実          | 拡充 | 独立行政法人山形県<br>酒田市病院機構<br>健康課 | 救命救急センターのH23.4開設<br>救急ワークステーションH23.4開設  | B | ハード面の整備はH23年度で完了。今後はNo.139によりソフト面の充実を図る。                                      | 継続 |
| 139 | 一時救急医療と初期小児救急医療体制の充実                    | 拡充 | 健康課                         | 日本海総合病院救急外来において酒田地区医師会の協力により平日夜間の1次救急診療支援を継続して実施した。                                 | B | 病院機構、酒田地区医師会と連携をとり事業を継続する。  | 継続 |
| 140 | 休日診療所の充実                                | 拡充 | 健康課                         | 酒田地区医師会、酒田地区薬剤師会との連携による休日診療所の開設を継続した。   | B | 酒田地区医師会と酒田地区薬剤師会と連携をとり事業を継続する。  | 継続 |
| 141 | 子育て支援拠点施設などでの子どもの応急処置や救命処置についての学習機会の設定  | 拡充 | 子育て支援課<br>健康課               | ファミリー・サポート・センター事業で病児対応研修会をおこなった際に、子育て支援センターの職員にも参加を呼びかけた。また、子育て養成講座等の研修の機会の情報を提供した。 | C | 幼児安全に関する知識・経験は必要不可欠であるため、継続して実施すると同時に、救命措置を行う事態に至らないための事故の予防等の研修についても実施を検討する。 | 継続 |
| 142 | 乳幼児健康診査や家庭訪問の場を活用した、発達段階に応じた事故防止法の紹介の促進 | 拡充 | 健康課                         | 9か月児健康相談時事故防止についての説明やパンフレットの配布を行っている。   | B | わかりやすい内容と、最新の情報を提供していく。   | 継続 |

| ◆重点課題 3 家庭での生活習慣の確立 |   | 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |               |   |   |  |    |
|---------------------|---|---|---------------|---|---|--|----|
| 143                 | 乳幼児健康診査、マタニティ教室、訪問活動での生活習慣確立のための助言指導の実施       | 拡充  | 健康課           | 各種健診、教室、訪問等で生活習慣についての助言指導を行った。  | B | わかりやすい媒体を通し様々な機会に助言を行っていく。   | 継続 |
| 144                 | 妊娠や出産を契機とした、妊婦や家族の生活習慣の見直し及び改善への働きかけ          | 継続  | 健康課           | 母子手帳交付時、マタニティ教室で食生活を含めた生活習慣について説明している。  | B | わかりやすい媒体を通し助言を行っていく。   | 継続 |
| 145                 | 食生活改善推進員の活動を通じた、食生活を含めた生活習慣の見直し及び改善への働きかけ     | 継続  | 健康課           | 食生活改善推進員による、親と子の食育教室を実施した。25年度は、12地区 参加者290人  | B | 教室開催地区は計画通りであったが、1回の参加人数が年々少なくなってきた。食生活改善推進員による自主事業のため、計画的な実施でより多くの地域で実施していきたい。                            | 継続 |
| 146                 | 地域子育て支援拠点施設、幼稚園、保育園などでの、家庭の望ましい生活習慣確立の啓発と情報提供 | 継続  | 子育て支援課<br>健康課 | 園では年度当初の保護者会、クラス懇談会、季節毎の園だよりや保育参観日の際に情報提供を実施した。<br>食育出前講座では、保育園で寸劇(食ベレンジャー)や食育ゲーム(組み合わせた献立のバランスを確認するゲーム)を実施したほか、保育中の祖父母を対象に食事やおやつのとりの方をテーマに幼児期からの望ましい食生活の啓発を行った。<br>25年度は、保育園での活動は9園 663人の園児、保護者が参加し、祖父母を対象とした講座では、2回 26人の乳幼児、祖父母が参加した。 | B | 保護者に対する個人面談に応じたり、連絡ノートを活用するなどし、丁寧な根拠よく伝えていく。<br>出前講座については、保育園での実施は定着してきているが、幼稚園や認可外保育施設との連携をとりながら事業推進に努める。 | 継続 |

### 施策の方向性 3 食育の推進

| No.                               | 具体的施策                                       | 継続<br>拡充<br>新規  | 担当課                  | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性  | 今後の<br>予定 |
|-----------------------------------|---|---|----------------------|--|----------------|--|-----------|
| ◆重点課題 1 家庭と保健、教育、福祉などとの連携による食育の推進 |   | 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |                      |  |                |  |           |
| 147                               | 「家族団らんの日」を推進し、食に感謝し食を楽しむ意識の啓発活動と体験活動の実施     | 継続  | 農政課                  | 「酒田市食育・地産地消推進計画」に基づき、酒田市食育・地産地消推進委員会と連携して各種取組を実施した。<br>保育園では郷土食について、子どもがたべやすいレシピの工夫をし、献立に積極的に取入れた。   | B              | 「酒田市食育・地産地消推進計画」に基づき酒田市食育・地産地消推進委員会と連携して食育・地産地消を推進していく。  | 継続        |
| 148                               | 保育園、幼稚園、学校などでの郷土料理を取り入れた献立づくりや地元食材を使った給食の実施 | 継続  | 教育委員会管理課<br>子育て支援課   | 毎月19日前後に、地元産食材や郷土料理を中心とした「食育の日献立」を設けた。旬の食材や郷土料理を給食だよりで紹介した。<br>11月・1月・2月に「つや姫給食」を実施した。<br>市内6小学校で、酒田産米を100%使用した「米粉パン」給食を実施した。<br>(地場産野菜の使用率: 小学校31.9%・中学校23.1%、米: 100%酒田産、豚肉: 100%庄内産)<br>給食献立に郷土食を取り入れ、そのレシピをおたよりなどで配布した。   | B              | 「食育の日献立」等で地場産食材を給食に取り入れ、食材の効用や郷土料理を給食だよりなどで紹介していく。また併せて旬の食材を使用した献立レシピを掲載する。<br>地元食材の利用品目をさらに拡大できる取り組みが必要。<br>引き続き、給食献立に郷土食を取り入れ、保護者にもそのレシピ配信をしていく。 | 継続        |
| 149                               | 地域子育て支援拠点施設での食育講座や食に関する学習機会や情報提供の実施         | 拡充  | 子育て支援課<br>健康課<br>農政課 | 児童センター、子育て支援センターで離乳食・幼児食講座・親子料理教室を開催した。<br>健康課では祖父母世代に幼児の間食の摂り方や虫歯予防等について情報提供した。<br>米粉調理実習や太田政宏シェフ・学校栄養士会との連携による味覚教室の実施等、体験と給食をとおして小学生に地元食材や味について学習の場を提供した。<br>・10～11月 味覚教室 市内小学校9校<br>・10～12月 米粉調理実習 市内小学校5校<br>・12月 親子食育料理教室 公募親子7組<br>・2月 米粉100%パン給食 市内小学校6校<br>・11、1、2月 つや姫給食の実施(3回)市内全小・中学校 | B              | 「酒田市食育・地産地消推進計画」に基づき酒田市食育・地産地消推進委員会と連携して食育・地産地消を推進していく。<br>児童センターと子育て支援センターでは主に未就園児の世帯を対象に、食育を推進する。  | 継続        |
| 150                               | マタニティ教室などでの栄養と食に関する学習と体験活動の実施               | 継続  | 健康課                  | 妊婦に必要な栄養・食生活についての講話や、正しい情報を提供した。   | B              | 対象者の現状に応じ、実践につながる情報提供と、参加者同士の交流や情報交換の充実を図る   | 継続        |

|     |   |    |   |  |   |  |    |
|-----|---|----|---|--|---|--|----|
| 151 | 保育園、幼稚園、学校などでの食に関する体験活動の実施                    | 継続 | <p>農政課</p> <p>子育て支援課</p> <p>教育委員会管理課</p> <p>学校教育課</p> | <p>保育園や幼稚園では、畑などで栽培・収穫をし、クッキング活動を通して実施した。</p> <p>学校では、栄養職員の配置がない学校への、栄養教諭及び学校栄養士を派遣した。(派遣回数98回)また、各学校で田や畑などを活用して食に関する体験活動を実施したり、学校給食週間を設けたりして指導した。</p> <p>農政課では食育交流活動補助金を交付した。実績 25件(延べ13園、12校)738千円</p> | B | <p>「酒田市食育・地産地消推進計画」に基づき酒田市食育・地産地消推進委員会と連携して食育・地産地消を推進していく。</p> <p>保育園、幼稚園では、栽培・収穫・調理とクッキング計画書を作成し実施していく。</p> <p>学校では、栄養職員の派遣については、1校当たりの食指導派遣回数が増えることで、県費栄養士の負担が多くなるという課題がある。</p> <p>引き続き生活科や総合的な学習の時間を利用しての食に関する体験学習の実施を推進していく。</p> | 継続 |
| 152 | 食生活改善推進員の活動を通じた、食生活を含めた生活習慣の見直し及び改善への働きかけ(再掲) | 継続 | 健康課   | <p>食生活改善推進員による、親子の食育教室を実施した。</p> <p>25年度は、12地区 参加者290人</p> <p>また、健康課の食育出前講座の内、寸劇(食ベレンジャー)については、保育園地区の食生活改善推進員と協同で実施した。</p> <p>25年度は、6園 465人の園児、保護者が参加した。</p>   | B | <p>教室開催地区は計画通りであったが、1回の参加人数が年々少なくなっている。食生活改善推進員による自主事業のため、計画的な実施でより多くの地区で実施していきたい。</p>   | 継続 |

基本施策4 子どもの心身の健やかな成長のための学習環境づくり

施策の方向性 1 子どもの生きる力の育成に向けた学校などの教育環境の整備

| No.   | 具体的施策  | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                 | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性  | 今後の<br>予定 |
|---|--|----------------|---------------------|--|----------------|--|-----------|
| ◆重点課題 1 確かな学力の育成 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |  |                |                     |  |                |  |           |
| 153   | 個々の児童生徒に適応した就学指導の推進                                  | 継続             | 学校教育課               | 夏休み前から個別の就学相談を行った。また、各園へ訪問し、子どもの様子を直接見ながら情報収集に努めている。   | A              | 個々の子どもの実態を把握すると共に、保護者の思いを受けた就学相談を実施する。   | 継続        |
| 154   | チーム・ティーチング、少人数指導、習熟度別指導、教科担任制の導入の推進                  | 拡充             | 学校教育課               | 県の事業の連携し、きめ細やかな指導の充実を図った。  | A              | 県の事業と連携しながら、よりきめ細やかな指導の充実を図る。  | 継続        |
| 155   | コンピュータ教育充実のための計画的なソフトの整備と指導者の育成                      | 拡充             | 学校教育課               | コンピュータとソフトの整備と担当者の研修会を行った。   | B              | コンピュータやソフトの充実を図るとともに、運用のための研修会を引き続き行う。   | 継続        |
| 156   | 子どもが気軽に楽しみながら科学を体験する学習機会(科学教室、ものづくり塾など)の充実           | 拡充             | 学校教育課               | チャレンジものづくり塾、サイエンス発明教室、ものづくり出前授業などを行った。   | A              | リーフレットを配付し、より多くの参加ができるように周知していく。   | 継続        |
| 157   | 専門的知識や経験を有する事業所や民間団体などの多様な教育資源の活用                    | 継続             | 学校教育課               | 市内全中学校で職場体験を実施した。  | B              | 事前事後学習を充実させ、生徒のキャリア教育につなげていく。  | 継続        |
| 158   | 外国人講師の積極的な活用   | 拡充             | 学校教育課               | ALT4名を市内中学校に配置し、併せて各小学校にも派遣した。   | B              | 担当教師と連携して効果的な指導(TTI)が行われるよう助言する。   | 継続        |
| 159   | 発達障がいに対する支援の充実                                       | 拡充             | 学校教育課<br>福祉課<br>健康課 | 学校では特別支援研修会や相談活動、学習支援員連絡会を行った。発達支援室では、随時相談や育ちのサポート事業を中心に発達面で気になる事があるお子さんへの相談支援を行った。また、健診においても健診内容の充実とフォロー教室をおこない子どもや親に合った支援を行っている。 | B              | 学校では、引き続き研修活動を充実させることにより、適切な支援を推進していく。発達支援室にて常時相談できる体制を継続するとともに関係機関、関係課と連携し早期発見、早期支援を推進していく。 | 継続        |
| ◆重点課題 2 豊かな心の育成 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施)  |  |                |                     |  |                |  |           |
| 160   | 児童生徒の主体的企画運営による多様な体験活動の充実                            | 拡充             | 学校教育課               | 各校で工夫した活動が実施された。   | B              | 児童生徒の自主性の涵養を図りながら、各学校の児童会、生徒会活動として実施する。  | 継続        |
| 161   | 専門家や本物の芸術にふれる機会、発表の機会などの積極的創出                        | 継続             | 学校教育課               | 小中学校音楽教室、中学生合唱祭の実施、また、国の事業と合せての芸術体験事業などを行った。   | B              | 本物の芸術に触れる機会を引き続き検討していく。  | 継続        |
| 162   | 道徳教育の充実と「公益の心」の涵養                                    | 継続             | 学校教育課               | 学校教育の重点として学校に周知し、各校で実施した。中学校での授業研究会が確実に増え、レベルも向上している。  | B              | 教育研究所の東北大会に合わせてさらなる充実を図っていく。   | 拡充        |
| 163   | 生活体験、自然体験、職場体験などの体験学習活動の充実                           | 拡充             | 学校教育課               | 小学校による飛鳥や八幡での自然体験や中学生による職場体験学習活動を実施した。   | B              | 自然体験プログラムの充実や、受け入れ企業の拡大を推進していく。  | 継続        |
| 164   | 様々な価値観をお互いに受容し、認めあえるような社会意識を醸成するための啓発活動の展開           | 継続             | 学校教育課               | 学校教育の指導の重点として周知し、各校で実施した。  | B              | 学校教育の指導の重点として周知し、指導していく。   | 継続        |
| 165   | 学校教育と社会教育及び家庭教育の連携の推進                                | 継続             | 学校教育課<br>社会教育課      | P.T.A活動や地域活動として各学校で実施した。また、校長会や学校訪問を通じて学校との連携する事業について周知するとともに、出前講座、家庭教育セミナー等の関係事業の実施について、学校教育課と調整を図った。                             | B              | 引き続きP.T.A活動や地域活動として各学校で実施する。出前講座や家庭教育セミナー等の関係事業の実施については関係課間で連絡調整を密にしながら行う。                   | 継続        |
| 166   | 自己指導能力を高める生徒指導の推進                                    | 拡充             | 学校教育課               | 学校教育の指導の重点として周知し、各校で実施した。生徒指導委員会にて情報を交換した。   | B              | 生徒指導委員会での情報交換を大切にしたり、学校訪問を通して各校の実態を把握したりして指導の充実を図るとともに、教育相談研修講座での研修会を実施する。                   | 拡充        |
| 167   | 教育相談室における来室相談、電話相談の活発化と相談専門員による積極的な学校訪問活動の促進と相談窓口の周知 | 拡充             | 学校教育課               | 教育相談室のパンフレットを全新生入へ配付して周知した。月に2回、教育相談専門員による情報交換会やスーパーバイザーを招聘しての研修会を行った。   | B              | 教育相談体制リーフレットを全教職員に向けて発行し、周知を図る。教育相談専門員会では、事例をもとにした研修を充実させる。引き続きスーパーバイザーを招聘しての研修会を行う。         | 拡充        |



|     |   |    |                            |  |   |   |    |
|-----|---|----|----------------------------|--|---|---|----|
| 168 | 適応指導教室の効果的な運営   | 拡充 | 学校教育課                      | 児童・生徒が互いに関わりをもつ活動を日常的に行うと共に、ボランティアを講師とする各種活動による集団への適応能力を育成した。  | B | 適応指導教室への通級に至らない子どもの接続を円滑に進めるとともに、通級児童生徒が目標を持って活動にあたるよう、支援計画を充実させる。  | 継続 |
| 169 | 教育相談担当者の研修機会を実施   | 拡充 | 学校教育課                      | 教育相談担当者会、スーパーバイザー研修会、事例研修会、教育相談研修講座（年4回）を実施した。   | B | 事例研修会には引き続きスクールカウンセラーを派遣し、広い見地から研修ができるようにしていく。スーパーバイザー研修会、教育相談研修講座は内容をさらに充実させ、実りの多いものにしていく。   | 拡充 |
| 170 | スクールカウンセラーの効果的な活用体制の整備                                    | 拡充 | 学校教育課                      | スクールカウンセラーを全中学校に配置し、必要に応じて小学校へも派遣した。   | B | スクールカウンセラーと各相談員、関係職員が相談しながら相談業務ができるよう校内体制の充実を図る。  | 継続 |
| 171 | 発達障がいに対する支援の充実(再掲)  | 拡充 | 学校教育課<br>福祉課<br>健康課        | 学校では特別支援研修会や相談活動、学習支援員連絡会を行った。発達支援室では、随時相談や育ちのサポート事業を中心に発達面で気になる事があるお子さんへの相談支援を行った。また、健診においても健診内容の充実とフォロー教室をおこなう子どもや親に合った支援を行っている。                                     | B | 学校では、引き続き研修活動を充実させることにより、適切な支援を推進していく。発達支援室にて常時相談できる体制を継続するとともに関係機関、関係課と連携し早期発見、早期支援を推進していく。  | 継続 |
| 172 | 児童図書室の図書の充実と、市内施設での様々な団体による読み聞かせの推進(再掲)                   | 拡充 | 図書館<br>子育て支援課              | 図書の選定では、その内容や利用が多く見込まれる等の要件により適切な選定を行いながら充実を図った。また、児童センター、子育て支援センター等で読み聞かせを実施した。   | B | 図書の選定にあっては関係団体との情報交換等による状況の把握と推進を目指す。読み聞かせについては、3カ月健診時に実施するブックスタート事業でも実施する。   | 継続 |
| 173 | 児童の読書普及を図るための図書館ボランティア活動への支援(再掲)                          | 拡充 | 図書館                        | 読み聞かせ団体（「あさの葉会」「絵本の部屋」）への活動支援を行った。外部からの問い合わせ等の窓口となった。  | B | 図書館事業と直接関わりのある団体は限定されているため他の団体との連携の強化を図る。   | 継続 |
| 174 | 9か月児健康相談での親子遊びや本の読み聞かせを推進する活動の実施(再掲)                      | 継続 | 健康課                        | 親子遊びと絵本の読み聞かせを行った。   | B | 継続して実施していく。   | 継続 |
|     |   |    | 図書館                        | ブックスタート事業は3か月児を対象とし、その後、1歳児までを対象にした「赤ちゃんの読み聞かせ教室」を開催。  | B | 好評であり、今後も継続して実施していく。  | 継続 |
| 175 | ALTの小学校への派遣の促進  | 拡充 | 学校教育課                      | ALTを各小学校へ派遣し、外国語活動の充実を図った。   | B | 各小学校へ派遣し、外国語活動の充実を図る。   | 継続 |
| 176 | 国際理解のための外国人との学習機会の拡大と外国語教育の充実                             | 継続 | 学校教育課<br>まちづくり推進課          | 市内の中学生をアメリカデンブシー中学へ派遣した。ALTとの学習で外国語教育の充実を図った。関係課が連携し、国際理解教育（総合学習）を行った。また、平成25年度から英語で発信できる子ども育成事業（英語であそぼう）を実施し、幼少期からネイティブスピーカーと触れ合い、英語に慣れ親しむことにより、英語によるコミュニケーション能力を養った。 | B | 海外派遣については、より充実した交流になるよう、日程や研修内容を検討しながら実施する。国際理解教育については、児童生徒にわかりやすく伝える必要があることから、本市在住の外国出身者の協力を得ながら外国がより身近に感じられ、国際理解に興味を持ってもらえるように内容を工夫していく。また、英語であそぼうについては、新規クラスに加え継続クラスを新たに設け、引き続き英語によるコミュニケーション能力を養っていく。 | 継続 |
| 177 | 子どもの国内、国際交流活動の推進に対する継続的な支援                                | 拡充 | 学校教育課<br>まちづくり推進課          | 沖縄今帰仁村の小学生、アメリカデンブシーの中学生との交流、姉妹都市ジリスノ川・イリスノ市・友好都市唐山市の青少年とスポーツ等を通じた交流を実施してきているが、平成25年度はジェ市に高校生・大学生を中心とした使節団を派遣し青少年同士の交流を深めた。また、唐山市とは調整が整わなかったため、青少年の交流はなかった。            | B | より充実した交流となるよう、日程や研修内容を検討しながら今後も相互交流を推進していく。国レベルの問題が生じた場合には、交流に影響が及ぶ恐れがあるが、今後も、姉妹都市・友好都市との相互交流を推進する。   | 継続 |
| 178 | コンピュータ教育充実のための計画的な情報機器の整備と指導者の育成(再掲)                      | 拡充 | 学校教育課                      | コンピュータとソフトの整備と担当者の研修会を行った。   | B | コンピュータやソフトの充実を図るとともに、運用のための研修会を引き続き行う。  | 継続 |
| 179 | メディアへの過度な依存による弊害について啓発し、地域、学校、家庭における情報モラル教育の推進            | 継続 | 学校教育課<br>社会教育課             | 各校へ情報を提供し、情報教育や生徒指導の場面、PTA研修会等で指導した。また、市の参画する庄内視聴覚教育協議会にて関連教材を整備、それらを有効に活用することで、啓発にあたった。また、市の参画する庄内視聴覚教育協議会にて関連教材を整備、それを有効に活用することで、啓発にあたった。                            | B | 関係機関から提供を受けた情報は確実に周知するとともに、情報教育担当者会で引き続き指導する。   | 継続 |
| 180 | 小学生、中学生、高校生自身によるボランティア活動の推進と地域などで展開されるボランティアなどの市民活動への参加促進 | 拡充 | 学校教育課<br>社会教育課<br>まちづくり推進課 | 各学校で、地域に出かけてのボランティア活動や、震災被災地での救援活動等を実施した。中・高校生が実施する、乳幼児・小学生との交流活動、募金活動、施設訪問などの活動をおして社会参加を支援した。また、巨大迷路の企画・運営を行い人材育成にもつながった。公益活動支援センターを運営し、市民活動の支援を行った。                  | B | 各学校の特性や児童生徒の思いを大切にボランティア活動を推進していく。中・高校生の取り組みについては、今後もリーダーとなる人材育成も視野に入れ、引き続き活動の充実を図る。公益活動支援センターについては、活動拠点としての啓発、PR及び情報提供の拡充、関係機関との連携を図り市民活動を支援していく。  | 継続 |

|     |                                    |    |          |  |   |  |    |
|-----|------------------------------------|----|----------|--|---|--|----|
| 181 | 「公益の心」を育むための、東北公益文科大学などの関係機関との連携強化 | 継続 | 学校教育課    | 酒田市公益活動推進委員として、東北公益文科大学澤道みさ子教授を委嘱し活動に対する助言をいただくなど連携を図った。学校では、エンカウンター演習の指導を行った。社会教育部門では昼と夜の部で連携講座（市民大学）を実施。とくに夜の部では地域課題や現代的課題やその解決策などについて学ぶ機会を提供した。 | B | 公益文科大学の連携強化を図り、地域のリーダーとなるべく人材育成に取り組んでくなど、「知の循環型社会」の実現を目指す。学校では引き続きエンカウンター演習の指導を行い、教育研究所の事業と合せて多くの教職員の参加を呼びかける。 | 継続 |
|     |                                    |    | 社会教育課    |  |   |  |    |
|     |                                    |    | まちづくり推進課 |  |   |  |    |
| 182 | 地域子育て支援拠点施設でのボランティア活動の積極的な受け入れ     | 拡充 | 子育て支援課   | 児童センター事業でママさんボランティアを受けれている。  | B | ボランティア活動を紹介しながら参加団体の増加を図る。   | 継続 |

◆重点課題 3 健やかな身体の育成 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施）

|     |                                    |    |           |  |   |  |    |
|-----|------------------------------------|----|-----------|--|---|--|----|
| 183 | 子どもの基礎的運動能力の向上                     | 拡充 | 文化スポーツ振興課 | 平成23年度、「基礎的運動能力向上プログラム」を実施し培ってきたノウハウを集約して「遊びのテキスト」を作成し、市内各幼稚園・保育園等へ配布した。平成25年度はその活用促進に取り組んだ。保育施設においては、保育課程の中に「基礎的運動能力の向上」を盛り込み、ふだんの園の生活や遊びの中で児童の体力づくりに取り組んでいる。<br>子育て支援拠点施設においては、児童センターのプレイランドやあそびのおへや事業などを実施し、未就園児の親子に体を動かして遊ぶことの楽しさを伝えている。 | B | 酒田市スポーツ推進計画策定（H25.4）に伴い、積極的にスポーツに取り組む子とそうでない子で二極化している実態を踏まえた事業の展開を検討していく。<br>保育施設では、文部科学省の幼児期運動指針では、様々な遊びを中心に、毎日60分以上体を動かすことが大切であるとされていることから、イベントなど特別な機会だけでなく、毎日体を動かすことを念頭に置いて、保育指導や施設利用者への働きかけを行っていくことが必要である。 | 継続 |
|     |                                    |    | 子育て支援課    |  |   |  |    |
| 184 | 親子が一緒に楽しめる親子スポーツ教室の充実              | 継続 | 文化スポーツ振興課 | 春秋に親子ベビー教室（水泳）を開催  | B |  | 継続 |
| 185 | スポーツ少年団や部活動の指導者の育成と資質向上            | 拡充 | 文化スポーツ振興課 | 本部大会への補助支援、指導者育成研修会を開催   | B | 地域スポーツ少年団との連携を図り、新たな指導者の確保に努める。  | 継続 |
| 186 | 総合型地域スポーツクラブの普及促進                  | 継続 | 文化スポーツ振興課 | H25年度に情報・意見交換会を開催  | B | 地域体育団体との連携を図り、魅力ある活動の展開を支援する。  | 継続 |
| 187 | 予約管理システムを活用した施設情報やスポーツ教室などの情報提供の推進 | 継続 | 文化スポーツ振興課 | 施設情報は予約システムにより、スポーツ教室等は市広報等で周知を図る  | B | 予約システムによる施設情報の提供並びにホームページへのスポーツ教室・イベント・団体の情報を掲載をしていく。  | 継続 |

◆重点課題 4 安全・安心な学校環境の充実 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施）

|     |                             |    |          |   |   |  |    |
|-----|-----------------------------|----|----------|---|---|--|----|
| 188 | 学校規模の適正化を計画的に実施             | 継続 | 教育委員会管理課 | 小・中学校の適正規模・適正配置について審議する学区改編審議会を開催した（2回）。<br>東平田、中平田、北平田小学校を統合した平田小学校を開校した。松山中学校と飛鳥中学校及び亀城小学校と港南小学校の統合準備委員会及び各部会を開催し、統合に向けた諸課題を協議した。<br>適正規模等に課題のある学区において、地域や保護者の方々との懇談会を開催し、課題等の共有を図った。 | B | 適正規模等に課題のある学校については、地域や保護者の方々の理解をいただきながら、学校の適正規模・適正配置の確保に努める。         | 継続 |
|     |                             |    | 学校教育課    |   |   |  |    |
| 189 | 県立酒田光陵高等学校の円滑な開校に向けた取組の推進   | 継続 | 学校教育課    | 統合終了  | B | 統合終了   | 完了 |
| 190 | 老朽度の高い校舎及び体育館などの計画的改築       | 継続 | 教育委員会管理課 | よりよい学校教育活動ができるよう、学校の環境整備を実施した。  | B | 学校統合と合わせて、校舎・体育館の改修、改築を進めてきたが、引き続き時代に合った環境整備を図る。                     | 継続 |
| 191 | 学校施設の耐震化の推進                 | 継続 | 教育委員会管理課 | 旧耐震基準により設計された施設の耐震性能を確保するための施設の改築工事の実施、施設の耐震補強工事を実施した。  | B | 児童、生徒の安全確保と災害時の避難場所としての機能確保のための耐震化を推進する。計画的に改修・改築に取り組むことができるように検討する。 | 継続 |
| 192 | 見守り隊連絡協議会での研修機会の設定と活動の充実    | 拡充 | 学校教育課    | 各学校ごとの見守り隊連絡協議会及び見守り隊リーダー研修会を実施した。  | B | 各学校ごとの見守り隊連絡協議会及び見守り隊リーダー研修会を実施する。                                   | 継続 |
| 193 | 危機管理の徹底と家庭や地域の声を反映した学校運営の推進 | 継続 | 学校教育課    | 学校教育の経営の重点として学校に周知し、実施した。   | B | 学校教育の指導の重点の命を守る安全教育の推進や家庭・地域・関係機関の連携をさらにお願していく。                      | 継続 |

◆重点課題 5 幼児教育の充実 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施）

|     |                             |    |                 |   |   |  |    |
|-----|-----------------------------|----|-----------------|---|---|--|----|
| 194 | 職員の資質向上のための、各種研修の充実と研修機会の拡充 | 拡充 | 子育て支援課<br>学校教育課 | 保育士、幼稚園教諭を対象に、保育力・教育力向上セミナーを開催した。また、学校内研修会の充実とともに、教育研究所の研修会にも積極的に取り組んだ。 | B | 幼保小連携を進めるための研修の推進する。県社会福祉協議会開催の研修会へ積極的に参加する。<br>また、校内研修会の充実を徹底していくとともに、教育研究所においても実りある研修会を実施していく。 | 継続 |
|-----|-----------------------------|----|-----------------|---|---|--|----|

|     |   |    |                     |  |   |  |    |
|-----|---|----|---------------------|--|---|--|----|
| 195 | 年間指導（保育）計画による心をはぐくむ教育の実施                                | 継続 | 学校教育課<br>子育て支援課     | 学校教育の指導の重点として周知し、実施した。<br>保育園では年齢毎の年間指導（保育）計画を作成した。  | B | 学校教育の指導の重点として周知、指導していく。<br>保育園においても計画に則った指導（保育）を実施する。  | 継続 |
| 196 | 子どもの基礎的運動能力の向上(再掲)                                      | 拡充 | 文化スポーツ振興課<br>子育て支援課 | 平成23年度、「基礎的運動能力向上プログラム」を実施し培ってきたノウハウを集約して「遊びのテキスト」を作成し、市内各幼稚園・保育園等へ配布した。平成25年度はその活用促進に取り組んだ。保育施設においては、保育課程の中に「基礎的運動能力の向上」を盛り込み、ふだんの園の生活や遊びの中で児童の体力づくりに取り組んでいる。<br>子育て支援拠点施設においては、児童センターのプレイランドやあそびのおへや事業などを実施し、未就園児の親子に体を動かして遊ぶことの楽しさを伝えている。                           | B | 酒田市スポーツ推進計画策定（H25.4）に伴い、積極的にスポーツに取り組み子どもとそうでない子どもで二極化している実態を踏まえた事業の展開を検討していく。<br>保育施設では、文部科学省の幼児期運動指針では、様々な遊びを中心に、毎日60分以上体を動かすことが大切であるとされていることから、イベントなど特別な機会だけでなく、毎日体を動かすことを念頭に置いて、保育指導や施設利用者への働きかけを行っていくことが必要である。 | 継続 |
| 197 | 幼稚園・保育園などの幼児教育機関としての機能の拡充と、保護者への家庭教育の重要性についての講座や啓発活動の充実 | 継続 | 学校教育課<br>社会教育課      | 幼稚園・保育園では外部講師を招いて、講座を実施した。園だけでなく子育て支援センターも活用している。園会報での啓発も行った。<br>各学校では家庭に向けて情報を提供し、家庭教育の重要性をPTA研修会などでもとりあげるなど工夫して啓発活動を行った。<br>また「さんさん学級（一般募集の未就園児と保護者を対象に6講座、家庭教育モデルとして2園8講座）、「すくすく出前講座（保育園児、幼稚園児と保護者30講座）」を実施した。<br>家庭教育講演会の実施（子育て支援課、まちづくり推進課と3課合同で実施「菊池桃子〜キャリアラダー」） | B | 家庭に向けて情報を提供し、PTA研修会等でとりあげてもらおうようお願いする。<br>講座の実施においては、保育園・幼稚園等で連携して実施することで、より多くの保護者に対して家庭や親の役割を学ぶ機会を提供し、家庭教育を推進していく。  | 継続 |
| 198 | 幼稚園就園家庭への経済的負担軽減（再掲）                                    | 継続 | 子育て支援課              | 私立幼稚園就学奨励事業、私立幼稚園にこころ子育て支援事業を実施して負担軽減をした。  | B | 継続して負担軽減を図る。   |    |
| 199 | 幼保小指導者研修の充実   | 拡充 | 学校教育課<br>子育て支援課     | 「幼児教育振興計画」に係る事業等の評価、改善や幼児教育の重要性の啓発、教員、保育士の継続した指導のあり方の実践することを目的に、研修等の実施とその成果についての検証を行った。  | B | 幼保小指導者の交換体験は成果を上げているが、園児と児童との交流等は、それ以上の発展が難しい。県で作成した幼保小連携スタートプログラムを活用し、内容を充実させながら継続する。   | 継続 |
| 200 | 教職員の情報交換を密にした、教育・保育のあり方の共通理解の促進                         | 拡充 | 学校教育課<br>子育て支援課     | 幼保小相互職場体験研修、幼保小指導者研修会を実施した。  | B | 幼保小相互職場体験研修、幼保小指導者研修会をさらに充実したものとなるよう工夫する。  | 継続 |
| 201 | 幼児と児童の交流の取組み促進  | 拡充 | 学校教育課<br>子育て支援課     | 各校で相互訪問をするなど工夫した取り組みがなされた。<br>児童対象のわんぱく広場事業と幼児対象の事業を組み合わせ実施した。   | B | 幼児と児童がさらに交流を深められるような訪問を工夫していく。   | 継続 |

**施策の方向性 2 家庭や地域の教育力の向上整備**

| No.   | 具体的施策  | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                    | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性   | 今後の<br>予定 |
|---|--|----------------|------------------------|--|----------------|---|-----------|
| <b>◆重点課題 1 家庭教育への支援の充実</b>                                |  |                |                        |  |                |   |           |
| 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |  |                |                        |  |                |   |           |
| 202   | 乳幼児健診や地域子育て支援拠点施設の事業など、多くの親が集まる機会を利用した、家庭教育に関する学習機会の充実 | 新規             | 子育て支援課<br>健康課<br>社会教育課 | 乳幼児健診、子育て支援センター等での育児講座、健康相談、ブックスタート事業を実施した。<br>また、「家庭教育セミナー」は、就学前の児童の保護者を対象に就学時健診や学校説明会を利用し、学校で2講座を実施した。また、企業向けでは、企業の理解をいただき就業時間内に1講座を実施できた。 | B              | ブックスタート事業、育児講座、健康講座は継続していく。また家庭教育セミナーについては完了し、今後は県との連携を図りながら、家庭教育支援事業の充実を図っていく。 | 継続        |

|   |  |    |                             |  |   |   |    |  |
|---|--|----|-----------------------------|--|---|---|----|--|
| 203   | 地域子育て支援拠点施設での、育児相談や子育て家庭の交流機能の充実   | 拡充 | 子育て支援課                      | 1. 利用状況<br>親子ふれあいサロン 49,350人<br>子育て支援センター 18,579人<br>つどいの広場 9,450人<br>2. 相談件数<br>親子ふれあいサロン 246件<br>子育て支援センター 1,255件<br>つどいの広場 507件                         | B | 利用しやすい相談環境づくり、利用者拡大に向けたPR、子育てサークルの育成支援を行い交流の増加を図る。  | 継続 |  |
| 204   | 地域子育て支援拠点施設などへの子育てアドバイザー（仮）の配置（再掲）   | 新規 | 子育て支援課                      | 未実施  | D | 子育て相談員が相談等を行っており、一定の効果がある。子育てアドバイザーの設置について検討が必要。  | 継続 |  |
| 205   | 子育てに関する活動を行うNPO法人、ボランティア団体への支援と協力  | 継続 | 子育て支援課                      | 県の市町村総合交付金を活用して、子育て支援事業を行うNPO法人、子育てサークル計3団体を支援した。  | B | 実施団体に対して助言相談等の支援を継続する。  | 継続 |  |
| 206   | 地域子育て支援拠点施設、ファミリー・サポート・センター、家庭児童相談室、市民健康センター、児童相談所、教育委員会、幼稚園、保育園などとの連携による子育て相談や情報交換活動の充実 | 拡充 | 子育て支援課<br>健康課<br>学校教育課      | 児童センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、児童相談所との連携を密にしながら相談を充実させた。   | B | 広く情報交換を行うために参集範囲、効果的な会の持ち方を検討し、関係機関との連携を密にしながら相談を行っていく。   | 継続 |  |
| ◆重点課題 2 地域の教育力の向上 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |  |    |                             |  |   |   |    |  |
| 207   | 地域での教育力向上に関わる各種講座、地域の人材を活かした事業などの実施  | 継続 | 社会教育課                       | ・小中学校において、地域で専門的な知識や技能を有する人材を活かした学習を展開し、学習活動における児童生徒の学習意欲や実践意欲の高揚を図る。<br>・旧公民館地区の25コミュニティ振興会に委託事業として実施。コミュニティ振興会が主体となって、児童と地区住民の交流（昔遊び・伝統芸能の継承・世代間交流）を行った。 | B | ・引き続き、学校との連携を深め、事業内容の充実を図る。<br>・社会教育指導員が定期的に各地区コミュニティ振興会に伺い、情報交換と相談体制を確立する。                                 | 継続 |  |
| 208   | 地域子育て応援団の育成など、地域での子育てに関する気運の醸成（再掲）   | 拡充 | 子育て支援課                      | 主任児童委員及び民生委員や地域との連携による地域における子育て応援団事業が3地区で実施され、参加延べ人数385人となった。現在10団体が各地域で活動を行っている。  | B | 新たな子育て応援団を育成していくほか、補助期間終了後の子育て応援団のフォローアップを検討する。   | 継続 |  |
| 209   | 地域子育て支援拠点施設、保育園、幼稚園などの専門的機能の地域活動への活用促進   | 拡充 | 子育て支援課                      | 未就園児童への離乳食、食事体験、遊び体験を通じて、保育士の子育ての様子を見てもらう園開放を行った。  | B | 相談や実際の様子を見ながらノウハウを伝え、子育て支援をする。  | 継続 |  |
| 210   | 地域の遊び環境づくりの人材養成、ボランティアグループの育成支援  | 継続 | 社会教育課<br>子育て支援課<br>まちづくり推進課 | 各コミュニティ振興会において、子供たちと地域住民との「ふれあい」をとらした健全育成事業に関わる方々の、スキルアップ講座を開催し人材の養成を図った。<br>また、公益活動支援センター（市民と行政の協働のまちづくりの拠点施設）を運営し、市民活動の支援を行った。                           | B | 継続して講座を開設しながら、リーダー育成と地域の各種団体との連携を図る。<br>また、公益活動支援センターについて、活動拠点としての啓発、PR及び登録団体の拡充や情報の提供を図り、公益活動団体の活動を支援していく。 | 継続 |  |
| 211   | 緑の少年団、海洋少年団などの育成支援の促進  | 継続 | 社会教育課<br>農林水産課              | 関連団体に補助金を支弁し、実習などを通じ、子供たちの健全育成を図った。  | B | 団員の確保、主体的な事務局体制の確立が課題。学校や地域へのPRを強化しながら、児童健全育成の観点から継続して支援する。   | 継続 |  |
| 212   | 親子が一緒に楽しめる親子スポーツ教育の充実（再掲）  | 継続 | 文化スポーツ振興課                   | 春秋に親子ヘビー教室（水泳）を開催  | B | 継続して開催する。   | 継続 |  |
| 213   | スポーツ少年団や部活動の指導者の育成と資質向上（再掲）  | 継続 | 文化スポーツ振興課                   | 本部大会への補助支援、指導者育成研修会を開催   | B | 地域スポーツ少年団との連携を図り、新たな指導者の確保に努める。   | 継続 |  |
| 214   | 総合型地域スポーツクラブの普及促進（再掲）  | 継続 | 文化スポーツ振興課                   | H25年度に情報・意見交換会を開催  | B | 地域体育団体との連携を図り、魅力ある活動の展開を支援する。   | 継続 |  |

| ◆重点課題 3 健全育成指導者の養成 |   | 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |       |                                      |   |                           |    |
|--------------------|---|--|-------|--------------------------------------|---|---------------------------|----|
| 215                | 子ども達の健全な育成を目指す子ども育成会活動の充実               | 拡充   | 社会教育課 | 関連団体に補助金を支弁。 育成会活動の推進を支援した。          | B | 団体の自主性を生かして、いっそうの活動を促進する。 | 継続 |
| 216                | 青少年団体、児童育成関係団体・機関との連携による各団体のリーダーや指導者の育成 | 継続   | 社会教育課 | 子ども会児童リーダー、育成会指導者に危険予知トレーニング講習を実施した。 | B | 市子連と連携し、研修の充実を図る。         | 継続 |

施策の方向性 3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

| No.                                | 具体的施策                                       | 継続<br>拡充<br>新規   | 担当課            | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)  | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性   | 今後の<br>予定 |
|------------------------------------|---|--|----------------|---|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 関係機関・団体や地域との連携による有害環境対策の推進 |   | 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |                |   |                |   |           |
| 217                                | 関係機関・団体や地域との有害環境を除去する活動の連携強化                | 拡充   | 学校教育課<br>社会教育課 | 環境浄化活動などを実施した。また、関連団体に補助金を支弁した。   | B              | 環境浄化活動などを継続して実施する。また、関連団体の自主性を生かして、いっそうの活動を促す。                | 継続        |
| 218                                | 子どもが利用する携帯電話におけるフィルタリング・ソフト又はサービスの普及促進      | 継続   | 学校教育課<br>社会教育課 | 情報を提供し、各校において情報教育や道德等の時間で指導した。また、関連団体に補助金を支弁し、子供たちの安全に係る研修活動など推進補助した。   | B              | 情報を適宜提供すると共に、各校での情報教育が充実するよう指導する。また、関連団体の自主性を生かして、いっそうの活動を促す。 | 継続        |
| 219                                | メディアへの過度な依存による弊害や地域、学校、家庭における情報モラル教育の啓発     | 継続   | 学校教育課<br>社会教育課 | 街頭指導や電話による相談業務を実施した。また、市の参画する庄内視聴覚教育協議会にて関連教材を整備、それを有効に活用することで、啓蒙にあたった。 | B              | 街頭指導時の声掛けを推進するとともに、庄内視聴覚教育協議会がH25年度で解散したため他の方法も模索する。          | 継続        |
| 220                                | 青少年指導センターにおける、青少年の育成と問題行動や非行未然防止の指導、相談業務の充実 | 拡充   | 学校教育課          | 関連団体に補助金を支弁し、環境浄化運動を推進補助した。   | B              | 団体の自主性を生かして、いっそうの活動を促す。                                       | 継続        |
| 221                                | 有害な自動販売機や広告物、図書の撤去など、青少年を取りまく環境の浄化活動の展開     | 継続   | 社会教育課          | 有害図書販売店の巡回指導を行った。関連団体に補助金を支弁し、環境浄化運動を推進補助した。                            | B              | 団体の自主性を生かして、いっそうの活動を促す  | 継続        |
| 222                                | 青少年の健全育成と非行防止を呼びかける研修事業や該当宣伝活動、広告活動の実施      | 継続   | 学校教育課<br>社会教育課 | 非行防止街頭宣伝活動の充実や研修会を実施した。また、関連団体に補助金を支弁し、環境浄化活動を推進補助した。                   | B              | 宣伝活動や研修会を実施する。また、団体の自主性を生かしていっそうの活動を促す。                       | 継続        |

基本施策5 子育てにやさしく安全な生活環境づくり

施策の方向性 1 良好な住居環境の確保

| No.  | 具体的施策                                  | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課 | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性   | 今後の<br>予定 |
|--|--|----------------|-----|--|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 子育て世帯に配慮した住居環境の整備 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |  |                |     |  |                |   |           |
| 223  | 住宅のユニバーサルデザイン化に伴う、住宅改築、改修に対する住宅助成制度の周知 | 継続             | 建築課 | ・持家住宅等の新築、増改築、修繕等を行う方に対する貸付金の利子補給。貸付限度額400万円、返済期間10年以内。<br>・住宅リフォーム工事を行う方に対して40万円を限度に補助金を交付。 | A              | 住環境の整備を促進させるため、継続して実施する。良好な住居環境の整備を促進し、住宅の質(バリアフリー、省エネ等)の向上を図るため継続して実施する。 | 継続        |
| 224  | ひとり親家庭や多子世帯への公共賃貸住宅入居の配慮               | 継続             | 建築課 | ひとり親世帯及び多子世帯に対する配慮として、公営住宅の抽選で2回くじが引ける優先措置を実施した。   | B              | ひとり親世帯及び多子世帯を支援するため、継続して実施する。   | 継続        |

施策の方向性 2 安全で安心な生活環境の整備

| No.  | 具体的施策   | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課      | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)  | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性   | 今後の<br>予定 |
|--|---|----------------|----------|---|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 安全な道路環境の整備 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施)        |   |                |          |   |                |   |           |
| 225  | 防犯灯の整備推進  | 継続             | まちづくり推進課 | 小中学生の通学路に防犯灯を整備し、犯罪の抑止を図った。   | B              | 防犯灯の適切な管理を行い、併せてLED化による省電力化を図る。                                 | 継続        |
| 226  | 通学路の除雪を拡大するための市民の積極的な協力体制の確立                                      | 継続             | 土木課      | 除雪計画による通学路の除雪延長を拡大。地域住民による通学路除雪を支援するため、補助金を交付   | B              | 通学路の安全、安心を図るため、継続して実施する。  | 継続        |
| 227  | 自主除雪機械購入に対する支援  | 継続             | 土木課      | 地域住民が自主的にを行う除雪を支援するため、除雪機械購入に対する補助金を交付。   | B              | 地域住民が行う除雪の充実を図るため、継続して実施する。                                     | 継続        |
| 228  | ベビーカーでの移動の利便性、安全性の向上に向けた歩行空間などのバリアフリー化の促進                         | 継続             | 土木課      | 平成25年度については、交差点改良、道路改良等における歩道改修(バリアフリー含む)の該当箇所がなかったために実績なし。   | C              | 新たに歩道を設置する場合や歩道の改修を行う場合には、車道と歩道の段差が小さくなるように努める。                 | 継続        |
| ◆重点課題 2 子育て世帯にやさしい施設環境の整備 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |   |                |          |   |                |   |           |
| 229  | 子育て世帯が集まる施設への、授乳コーナー、子どもサイズの便器・手洗い器、洋式トイレ、ベビーシート、ベビールームなどの整備促進と支援 | 継続             | 子育て支援課   | 学童保育所のトイレを和式から洋式に取り換え、環境整備を図った。   | B              | 今後も状況に応じて環境整備を進めていく。  | 継続        |
| 230  | 子育てマップの作成と配布  | 新規             | 子育て支援課   | 県の委託事業でNPOが子育てマップ「いってきまっぷ」を作成済み。  | B              |   | 継続        |
| 231  | 公園遊具の定期点検の実施と、計画的な改修と設置の検討  | 継続             | 都市計画課    | 公園の遊具等の定期点検を実施し、撤去、設置、修繕を行い良好な公園環境の整備に取り組んだ。  | B              | 引き続き定期点検を実施し、劣化や不具合のある遊具等の撤去、設置、修繕を行い、安心して安全な公園環境の提供を図る。        | 継続        |
| 232  | 自然環境の保全・活用を基調にした公園緑地の整備   | 継続             | 都市計画課    | 特色ある公園づくりを目指し、地域住民等が自ら計画し、手づくりによる公園緑地整備の実施とその管理を行った。  | B              | 地域の特色や要望を取り入れながら、自らの計画・実施による快適な魅力ある公園緑地整備を図っていく。                | 継続        |
| 233  | 市民ボランティアによる環境美化活動の推進と支援   | 継続             | 都市計画課    | 酒田市全体を公園のようにきれいで快適なまちにするための啓発活動を行いながら、市民ボランティアによる環境美化活動(美化サポーター)に必要な資機材の支援を行った。また市民ボランティアとともに光ヶ丘公園の下草刈、ツル切り、ゴミ拾い等の環境美化活動を行った。 | B              | より多くの市民や地元企業から美化サポーターの活動に参加してもらい、市内の広い地域にわたって美化活動の推進と支援を実施していく。 | 継続        |

基本施策6 男女が子育てしやすい就労環境づくり

施策の方向性 1 仕事と子育ての両立に向けた多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

| No.   | 具体的施策  | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)  | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性   | 今後の<br>予定 |
|---|--|----------------|--------------------|---|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |  |                |                    |   |                |   |           |
| 234   | 男性も育児に参加しやすい職場環境づくりを目指し、仕事と生活の調和の実現に向けた労働者、事業主、地域住民の理解や合意形成を促進するための広報・啓発 | 拡充             | 子育て支援課<br>商工港湾課    | 菊池桃子氏を講師に子育て講演会を開催、400人が参加した。また、酒田市雇用創造協議会で、働きやすい職場環境づくりのセミナーを実施した。                           | B              | 状況にあったテーマを設定しながら、子育てを支援していくために、市民全体の理解と取り組みを図っていく。また、実践型地域雇用創造事業は、平成27年度まで実施する見込み。                | 継続        |
| 235   | 市民向けの仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する学習機会の充実                                   | 拡充             | 子育て支援課<br>商工港湾課    | 有川富二子氏（山形県男女共同参画センター相談員）等を講師にワーク・ライフ・バランス関係のセミナーを開催した。  | B              | 関係機関、商工港湾課、商工会議所と連携して、セミナー・出前講座等の開催により、企業の子育てに対する意識高揚を図る。   | 継続        |
| 236   | 多様な働き方（育児休業制度、子どもの看護休暇制度、就学前の短時間勤務体制、フレックスタイム制度など）の情報提供                  | 拡充             | 子育て支援課<br>商工港湾課    | 商工会議所会員へのワーク・ライフ・バランスの出前講座を4回行ったほか、子育て就労環境づくりセミナーを開催した。また、酒田市雇用創造協議会で、働きやすい職場環境づくりのセミナーを実施した。 | B              | 出前講座の対象を酒田市内の事業所に拡大して実施していく。また、実践型地域雇用創造事業は、平成27年度まで実施する見込み。                                      | 継続        |
| ◆重点課題 2 事業所などの子育てしやすい職場環境づくりへの支援 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施）  |  |                |                    |   |                |   |           |
| 237   | 女性の再就労などに向けた支援講座の開催  | 継続             | 子育て支援課<br>まちづくり推進課 | 市独自では開催していないが、県の子育て応援情報発信事業である「TOMONI」が主催する再就職準備講座のポスター・チラシを交流ひろばに掲示し、周知した。                   | B              | 多様な講座の要望があり、女性の再就労支援講座の定期的な開催は難しいが、H26年度は産後職場復帰応援講座を開催し、再就労支援を図る予定である。また、県などが提供する情報を発信し、支援を図っていく。 | 継続        |
| 238   | 最新の関係法制度や助成制度の説明会の開催   | 拡充             | 子育て支援課<br>商工港湾課    | 新たな制度（子ども・子育て支援新制度）の実施に向けた情報収集を行い、周知活動に向けた準備を行った。商工港湾課では経済産業省の補助金に関する説明会を3回実施した。              | B              | 新たな制度（子ども・子育て支援新制度）の実施に向け、国の動向を見ながら周知活動の実施を図る。  | 継続        |
| 239   | 事業所に向けたファミリー・サポート・センターの周知と利用促進   | 継続             | 子育て支援課             | 3か月児健診時に母親へ周知活動を行っているが、事業所に向けた周知は実施していない。   | B              | 3か月児健診時の周知活動のほか、事業所への周知を図るため、商工会議所会報等への掲載など連携を図る。   | 継続        |
| 240   | 就労環境整備に関する研修会や事業所向けの両立支援アドバイザーなどの派遣などによる、一般事業主行動計画策定への支援                 | 拡充             | 商工港湾課<br>子育て支援課    | 榑コヤマ代表取締役小山喜代司氏を講師に就労環境セミナーを開催した。   | B              | 関係機関、子育て支援課と連携して、セミナー・出前講座等の開催により、企業の子育てに対する意識高揚を図る。  | 継続        |
| 241   | 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）や次世代育成支援対策に取り組む事業所や民間団体の好事例の情報収集と提供                | 拡充             | 商工港湾課<br>子育て支援課    | 市独自に事業所の好事例紹介は実施していないが、県の子育て応援情報発信事業である庄内地区の子育て支援専門のホームページ「TOMONI」で紹介している。                    | B              | ワーク・ライフ・バランス出前講座の実施事例を、県の子育て応援情報発信事業である庄内地区の子育て支援専門のホームページ「TOMONI」で紹介していく。                        | 継続        |
| 242   | 事業所内保育所の整備に関する情報提供   | 新規             | 商工港湾課<br>子育て支援課    | 訪問企業に事業所内保育所の整備に関する情報提供を行った。誘致企業プレステージ・インターナショナルで事業所内保育所を整備、平成26年4月に開設予定。                     | B              | 関係機関との調整を図り、子育て支援課の事業推進に協力していく。   | 継続        |
| 243   | 中小事業所の経営基盤の確立と近代化を図るために必要な各種資金の低利での融資                                    | 継続             | 商工港湾課              | 運転資金・設備資金の両面からの支援を行った。  | B              | 中小企業の経営を支援することにより、雇用の安定を図るため欠かせない事業であり、継続していく。  | 継続        |
| 244   | 設備の近代化のための制度、産業助成制度への支援  | 継続             | 商工港湾課              | 一定要件の投下固定資産の固定資産税相当額への助成を行った。   | B              | 新規企業立地及び地場産業の育成には欠かせない事業であり、継続していく。   | 継続        |
| 245   | 就労環境の改善に向けた国・県に対する支援制度充実の要望  | 継続             | 商工港湾課              | 酒田市重要事業要望で離職者や高卒・大卒者等の新規就業希望者への就業支援の拡充を要望した。  | B              | 関係機関との調整を図り、子育て支援課の事業推進に協力していく。   | 継続        |

施策の方向性 2 男女共同による子育ての促進

| No.   | 具体的施策                                 | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性                                 | 今後の<br>予定 |
|---|---------------------------------------|----------------|--------------------|--|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 男女共同参画の視点による学習と意識啓発 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |                                       |                |                    |  |                |   |           |
| 246   | 男女共同参画推進センター「ウィズ」を中心とした学習機会の充実        | 拡充             | まちづくり推進課<br>子育て支援課 | 関係課と連携し、菊池桃子氏を講師に女性のキャリア教育、男女共同参画に関する市民フォーラムを実施するとともに、ウィズ講座で関連講座を実施し、学習機会の場・意識啓発の場を提供した。 | B              | 学習会の開催や情報の提供、住民への周知を図り、関係機関と連携を図りながら推進する。 | 継続        |
| 247   | 家族重視の視点に立ったライフスタイルの確立に向けた意識啓発         | 継続             | 子育て支援課             | 菊池桃子氏を講師に子育て講演会、男女共同参画推進市民フォーラムを開催、400人が参加した。また、ウィズ講座で関連講座を実施した。                         | B              | 学習会の開催や情報の提供、住民への周知を図り、関係機関と連携を図りながら推進する。 | 継続        |
|   |                                       |                | まちづくり推進課           |  | B              |   | 継続        |
| 248   | 男女が共同して子育てを行うことの意義や、喜びを理解するための学習機会の充実 | 拡充             | 子育て支援課<br>まちづくり推進課 | 菊池桃子氏を講師に子育て講演会、男女共同参画推進市民フォーラムを開催、400人が参加した。また、ウィズ講座で関連講座を実施した。                         | B              | 学習会の開催や情報の提供、住民への周知を図り、関係機関と連携を図りながら推進する。 | 継続        |



基本施策7 子供に安全なまちの環境づくり

施策の方向性 1 交通安全教育の推進

| No.  | 具体的施策   | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性                                | 今後の<br>予定 |
|--|---|----------------|--------------------|--|----------------|--|-----------|
| ◆重点課題 1 成長段階に応じた交通安全教育の推進 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |   |                |                    |  |                |  |           |
| 249  | 幼稚園や保育園などにおける交通安全教育の場としての、かもしかクラブの定着と活性化                    | 継続             | まちづくり推進課<br>子育て支援課 | 計16園で、かもしかクラブ活動への思念支援・協力を実施した。土曜開催や参観日に実施するなど、保護者のニーズに合わせて指導を行った。                              | B              | 今後も継続しつつ、活動の拡大を図る<br>保護者の活動をどのように進めるかが課題 | 継続        |
| 250  | 地域子育て支援拠点施設、地域、家庭の連携による、計画的かつ断続的な交通指導や交通安全専門指導員による交通安全教室の実施 | 継続             | まちづくり推進課           | 学校、PTA、子ども会など、多様な団体の主催により延べ165回の教室を開催した。   | B              | 今後も継続しつつ、活動の拡大を図る                        | 継続        |
| 251  | 「学区内危険マップ」の作成と配布による、児童生徒の安全に対する意識啓発の促進                      | 拡充             | 学校教育課              | 各学校でPTAと協力して作成し、児童生徒や保護者に配付した。通学路の安全点検を実施した。   | B              | 各学校でPTAと協力して作成し、児童生徒へ配付する。               | 継続        |
| 252  | 市の交通指導員や交通安全専門指導員、地域の交番、家庭との連携を図り、地域と一体となった指導体制の確立          | 継続             | 学校教育課<br>まちづくり推進課  | 青色回転灯等の支援(パトランプ等の貸与)を行った。また、登校時の交通指導員による立哨指導を行うとともに、交通安全教室において、交通指導員、警察、地域住民の協力を得て交通安全指導を実施した。 | B              | 青色回転灯等の貸与を継続して実施する。交通指導員の活動を継続する。        | 継続        |
| 253  | 交通安全教育に当たる職員の指導力の向上及び地域における民間の指導者の育成                        | 継続             | まちづくり推進課           | 交通指導員研修実施、自転車運転講習会への参加<br>交通専門指導員3名が全国研修に参加  | B              | 今後も継続                                    | 継続        |

◆重点課題 2 家庭への交通安全教育の推進 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施)

|     |   |    |                             |   |   |  |    |
|-----|---|----|-----------------------------|---|---|--|----|
| 254 | 交通安全に関する法律改正などの最新情報の提供と啓発                     | 継続 | まちづくり推進課                    | 市広報やFMラジオ等での呼びかけ、チラシ配布などにより周知   | B | 今後も継続  | 継続 |
| 255 | かもしかクラブ、乳幼児健診時や保育園、幼稚園などを通じたチャイルドシート使用徹底の呼びかけ | 拡充 | まちづくり推進課                    | 警察と協力し、適正な使用を指導   | B | 今後も継続  | 継続 |
| 256 | チャイルドシートの貸出制度の実施                              | 継続 | まちづくり推進課                    | 酒田地区交通安全協会に委託し実施している。   | B | 今後も継続  | 継続 |
| 257 | 児童・幼児の自転車乗車時の乗車用ヘルメット着用の推進                    | 新規 | まちづくり推進課<br>子育て支援課<br>学校教育課 | 児童へは自転車教室時に直接啓発を行い、保護者へはおたよりを配布するなどの啓発を行った。<br>保育園ではヘルメットの指導は行っていないが、年齢に応じた交通安全教育を実施した。<br>各小学校では安全指導を実施した。 | B | 交通安全教室の機会等を通じて、ヘルメット着用の有用性を積極的にアピールし、着用の重要性についての浸透を図る。保育園では随時年齢にあった交通安全教室を実施する。各校の安全教室で指導を徹底するほか、PTAでの研修会やおたより等で啓蒙を図る。 | 継続 |
| 258 | 幼児二人同乗用自転車購入への助成制度の実施                         | 継続 | 子育て支援課                      | 幼児二人同乗時の安全を確保するため、幼児二人同乗用自転車の利用を促進し、その購入費の一部を助成する補助制度あり。25年度実績0台  | B | 自転車の正しい乗り方や停め方も周知する必要がある。  | 継続 |

施策の方向性 2 子供を犯罪や災害の被害から守るための活動と被害にあった子どもの保護の推進

| No.  | 具体的施策                             | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課      | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)           | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性              | 今後の<br>予定 |
|--|-----------------------------------|----------------|----------|--|----------------|------------------------|-----------|
| ◆重点課題 1 子どもの犯罪被害防止活動と防犯・防災教育の推進 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施) |                                   |                |          |  |                |                        |           |
| 259  | 住民の自主防犯行動を促進するため、犯罪などに関する情報の提供を推進 | 継続             | まちづくり推進課 | 酒田市防犯協会連合会及び酒田地区防犯協会連合会の会議・研修時に情報交換を行った。 | B              | 市民の防犯意識の高揚、連絡体制の検討をする。 | 継続        |

|  |  |    |                         |   |   |  |    |
|--|--|----|-------------------------|---|---|--|----|
| 260  | 子供を犯罪などの被害から守るため、関係機関・団体との情報交換の場の設定                      | 継続 | まちづくり推進課                | 酒田市防犯協会連合会及び酒田地区防犯協会連合会の会議・研修時に情報交換を行った。  | B | 市民の防犯意識の高揚、連絡体制の検討をする。   | 継続 |
| 261  | 「子ども110番の家」などの防犯ボランティア活動の周知と支援                           | 継続 | まちづくり推進課                | 子ども110番は酒田警察署で実施している。   | B | 酒田警察署で実施することも110番の周知をする。   | 継続 |
| 262  | 学校付近や通学路における地域見まわり隊などによるパトロール活動の推進と充実                    | 拡充 | 学校教育課<br>まちづくり推進課       | 青色回転灯等の支援（パトライト等の貸与）を行った。また地域の防犯協会への情報提供を行った。   | B | 青色回転灯等の貸与を継続して行う。  | 継続 |
| 263  | 安全安心メール配信サービスの実施   | 継続 | 学校教育課                   | 安全安心メールを配信した。   | B | 安心安全メールの配信を迅速に行う。  | 継続 |
| 264  | 一日消防士体験やちびっこ消防まつりなどによる、防火意識の向上                           | 継続 | 広域行政組合消防本部予防課           | 1日消防士体験については継続して実施しており、H25年度は、小学2年生以上の36名が参加した。ちびっこ消防まつりも継続して実施しており、H25年度は、36の保育園・幼稚園、802人の園児が参加した。         | B | 1日消防士体験及びちびっこ消防まつりは以前から継続して実施しており、毎回多くの親子や家族が参加している。火災予防思想の普及面からも継続していく。                       | 継続 |
| 265  | 子育て支援拠点施設などにおける、親子での防火防災意識向上の学習会の実施                      | 継続 | 子育て支援課<br>広域行政組合消防本部予防課 | 毎月実施している避難訓練時に意識の向上を図ったほか、支援センター事業で防災講座や消防署の施設見学などを行った。また、「一日消防士体験勤務」及び「ちびっこしょうぼうまつり」の中で、親子共同での防火防災の知識を学んだ。 | B | 火災や災害から身を守るためには、幼少年期から防火に関する知識を学ぶことが大切であり、日頃の防火・防災の意識向上を図りつつ、親子で参加できる防災セミナー等を実施し、防災の知識を周知していく。 | 継続 |
| 266  | 心肺蘇生講習や応急手当講習を実施し、救急救命教育の推進                              | 拡充 | 広域行政組合消防本部予防課           | 救命入門コースを小学生17名、中学生78名、高校生353名、普通救命講習を中学生3名、高校生273名に実施した。  | A | 受講者のニーズに合わせた講習会を積極的に広報し、随時実施していく。  | 継続 |
| ◆重点課題 2 被害にあった子どもの保護や支援の充実 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |  |    |                         |   |   |  |    |
| 267  | 被害児童や保護者に対するフォローでの、教育相談室、警察、児童相談所、学校などの関係機関との連携強化        | 拡充 | 学校教育課                   | スクールカウンセラー、教育相談員、教育委員会が連携し、対応した。スクールカウンセラーの配当時数を増やして対応した。   | A | スクールカウンセラー、教育相談員、教育委員会がいっそう連携し、より迅速な対応を心掛ける。   | 継続 |
| 268  | 教育相談室における来室相談、電話相談の活発化と相談専門員による積極的な学校訪問活動の促進と相談窓口の周知（再掲） | 拡充 | 学校教育課                   | 教育相談室のパンフレットを全新生入へ配付して周知した。月に2回、教育相談専門員による情報交換会やスーパーバイザーを招聘しての研修会を行った。                                      | B | 相談窓口の周知を充実する。  | 継続 |
| 269  | 教育相談担当者の研修機会の充実（再掲）                                      | 拡充 | 学校教育課                   | 教育相談担当者会、スーパーバイザー研修会、事例研修会、教育相談研修講座（年4回）を実施した。  | B | 適時性のある研修を実施する。   | 継続 |
| 270  | スクールカウンセラーの効果的な活用体制の整備（再掲）                               | 拡充 | 学校教育課                   | スクールカウンセラーを全中学校に配置し、必要に応じて小学校へも対応した。  | B | スクールカウンセラーと各相談員、関係職員が相談しながら相談業務ができるよう校内体制の充実を図る。   | 継続 |

基本施策8 特別な支援を必要とする子どもをきめ細やかに支える環境づくり

施策の方向性 1 児童虐待防止対策の充実

| No.   | 具体的施策   | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性   | 今後の<br>予定 |
|---|---|----------------|--------------------|--|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 関係機関の連携による児童虐待防止対策の充実                                   |   |                |                    |  |                |   |           |
| 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |   |                |                    |  |                |   |           |
| 271   | 要保護児童対策地域協議会の機能強化   | 拡充             | 子育て支援課             | 酒田市要保護児童対策地域協議会の運営。要保護児童対策地域協議会等における協議・支援と関係機関とのケース検討会議を実施した。                        | B              | 酒田市要保護児童対策地域協議会の運営。要保護児童対策地域協議会等における協議・支援と関係機関とのケース検討会議の実施。   | 継続        |
| 272   | 関係者の資質向上のための研修や学習機会の充実  | 拡充             | 子育て支援課             | 児童虐待防止の啓発を主目的に、年1回研修会を開催した。  | B              | 児童虐待防止の啓発を主目的に、年1回研修会を開催。   | 継続        |
| 273   | 迅速かつ適切な対応をするための、個別ケース検討会議、実務者会議の充実  | 拡充             | 子育て支援課             | 家庭訪問による実態把握と関係機関とのケース検討会議実施した。   | B              | 家庭訪問による実態把握と関係機関とのケース検討会議の実施  | 継続        |
| 274   | 県知事又は児童相談所長への、出頭要求、立入調査又は一時保護の実施判断の速やかな通知と、県の行う検証作業への参加・協力などの連携強化                                   | 継続             | 子育て支援課             | 家庭訪問による実態把握と関係機関とのケース検討会議実施した。   | B              | 家庭訪問による実態把握と関係機関とのケース検討会議の実施  | 継続        |
| 275   | 主任児童委員及び民生委員との連携による地域支援体制の充実  | 拡充             | 子育て支援課             | 主任児童委員及び民生委員、医療、保健、教育、警察などの関係機関とのケース検討会議を実施した。                                       | B              | 主任児童委員及び民生委員、医療、保健、教育、警察などの関係機関とのケース検討会議の実施   | 継続        |
| 276   | 里親制度の広報啓発活動   | 継続             | 子育て支援課             | 窓口での里親制度ポスターの掲示、リーフレットの配布をした。  | B              | 児童相談所等と連携した広報啓発を推進し、里親制度ポスターの掲示、リーフレットの配布する。  | 継続        |
| 277   | 短期入所生活援助(ショートステイ)事業の周知  | 継続             | 子育て支援課             | 保護者の疾病及び緊急時に提案を行った。  | B              | 適正な利用を図る  | 継続        |
| 278   | 乳幼児健診や保健指導などの母子保健活動、乳児家庭全戸訪問事業、地域の医療機関、医療関係団体、地域子育て拠点施設、幼稚園・保育園などの連携による、妊娠・出産・育児期に養育支援を必要とする家庭の早期把握 | 継続             | 子育て支援課<br>健康課      | 関係機関が連携し、健診や子育て支援拠点における遊びの状況、保護者からの子育て相談などの機会を通じて、養育支援を必要とする家庭の早期把握に努めている。           | B              | 関係機関、関係課と連携をとり、養育支援を早期に受けられるように努める。   | 継続        |
| 279   | 養育支援を必要とする家庭への、養育支援訪問事業などの適切な支援の実施  | 継続             | 子育て支援課<br>健康課      | 養育支援を必要とする家庭へ適切な支援をするために、関係課と連携し訪問を行っている。子ども家庭支援員を派遣しサポートした。                         | B              | 養育支援を必要とする家庭へ適切な支援をするために、子ども家庭支援員を派遣しサポート。主任児童委員及び民生児童委員、医療、保健、教育、警察などの関係機関とのケース検討会議の実施                 | 継続        |
| 280   | 主任児童委員及び民生児童委員、医療、保健、教育、警察などの関係機関による、効果的な情報提供・共有のための連携体制の強化   | 拡充             | 子育て支援課             | 酒田市要保護児童対策地域協議会の運営。要保護児童対策地域協議会等における協議・支援と関係機関とのケース検討会議を実施した。                        | B              | 酒田市要保護児童対策地域協議会の運営。要保護児童対策地域協議会等における協議・支援と関係機関とのケース検討会議の実施。   | 継続        |
| 281   | 主任児童委員及び民生児童委員との連携による地域支援体制の充実(再掲)  | 拡充             | 子育て支援課             | 主任児童委員及び民生委員、医療、保健、教育、警察などの関係機関とのケース検討会議を実施した。                                       | B              | 主任児童委員及び民生委員、医療、保健、教育、警察などの関係機関とのケース検討会議の実施。  | 継続        |
| 282   | 児童虐待防止推進の強調月間などでの啓発活動の推進  | 継続             | 子育て支援課             | 主任児童委員及び民生委員、医療、保健、教育、警察などの関係機関とのケース検討会議を実施した。                                       | B              | 主任児童委員及び民生委員、医療、保健、教育、警察などの関係機関とのケース検討会議の実施   | 継続        |
| 283   | 「児童の権利に関する条約」の意義や内容についての広報活動を実施し、関係機関との連携による子どもの人権に関する啓発活動の推進                                       | 継続             | 子育て支援課<br>まちづくり推進課 | 11月の児童虐待防止推進月間に児童虐待防止の啓発、相談窓口周知の目的で広報に掲載した。  | B              | 11月の児童虐待防止推進月間に児童虐待防止の啓発、相談窓口周知の目的で広報等に掲載   | 継続        |
| 284   | 小学校などでのCAPプログラムを活用した子どもの権利擁護のための研修会の実施  | 拡充             | 子育て支援課<br>まちづくり推進課 | 保育園3園で、児童及び保護者等並びに教職員を対象とした児童虐待防止のためのワークショップを開催した。また、2月に新任民生委員等を対象にした児童虐待防止講演会を実施した。 | B              | 希望があった保育園及び学校を対象に、児童及び保護者(地域の父兄)並びに教職員を対象としたワークショップを開催し、地域全体で子どもをサポートする。隔年でまちづくり推進課と連携し、参加校を増やして実施している。 | 継続        |

施策の方向性 2 ひとり親家庭などの自立支援の推進

| No.   | 具体的施策  | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課    | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)                          | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性                               | 今後の<br>予定 |
|---|--|----------------|--------|---|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 ひとり親家庭などに対する支援の充実 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |  |                |        |   |                |   |           |
| 285   | 保育園や学童保育所などの優先入所、ファミリー・サポート・センターの利用への配慮          | 継続             | 子育て支援課 | ひとり親家庭で一時預かりの相談に対してファミリー・サポート・センターを紹介した。                | B              | 引き続き利用のための情報提供を行う。                      | 継続        |
| 286   | 親の疾病などの場合における、短期入所生活援助(ショートステイ)事業の実施             | 継続             | 子育て支援課 | 保護者の疾病の際に児童福祉施設への短期入所を実施した。                             | B              | 引き続き適正な利用を図る。                           | 継続        |
| 287   | 相談窓口機能の周知とスムーズな対応や連携の強化                          | 拡充             | 子育て支援課 | 親子ふれあいサロン、子育て支援センター、家庭児童相談室のチラシ、子育てハンドブックを配布し窓口の周知を図った。 | B              | 引き続き窓口の周知と連携の強化を進める。                    | 継続        |
| 288   | 母子自立支援員による相談の実施と要支援者の把握                          | 継続             | 子育て支援課 | 母子自立支援員による相談を実施した。                                      | B              | 継続して実施する。要支援者の把握は課題となっている。              | 継続        |
| 289   | ひとり親家庭の就労支援のための研修などの周知                           | 継続             | 子育て支援課 | チラシ等の配布を行った。  | B              | 継続して実施する。                               | 継続        |
| 290   | 家庭裁判所が作成している養育費や子どもに関する手続きなどのリーフレットの配布           | 継続             | 子育て支援課 | チラシ等の配布を行った。  | B              | 継続して実施する。                               | 継続        |
| 291   | 無料法律相談会や市民生活相談窓口、県や財団法人が行う、ひとり親家庭に対する生活支援事業の情報提供 | 継続             | 子育て支援課 | チラシ等の配布を行った。  | B              | 継続して実施する。                               | 継続        |
| 292   | 児童扶養手当の適切な給付                                     | 拡充             | 子育て支援課 | 要件を満たす子どもの父又は母又は養育者に児童扶養手当を給付した。                        | B              | 引き続き受給対象者の把握に努める。                       | 継続        |
| 293   | 母子・寡婦福祉資金貸付制度、生活福祉資金・難転職者支援資金制度の周知               | 継続             | 子育て支援課 | 窓口における説明、チラシ等の配布を行った。                                   | B              | 継続して実施する。                               | 継続        |
| ◆重点課題 2 ひとり親家庭などの社会参加の支援 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施)  |  |                |        |   |                |   |           |
| 294   | ひとり親家庭を支援するNPO法人や関係団体の情報提供                       | 継続             | 子育て支援課 | チラシ等の配布を行った。  | B              | 継続して実施する。                               | 継続        |
| 295   | 「酒田市母子寡婦福祉ねむの木会」への活動支援                           | 継続             | 子育て支援課 | 親子レクリエーション事業等の委託を行った。                                   | B              | 引き続き活動支援を行う。                            | 継続        |
| 296   | 親子で楽しめる事業やイベントの紹介                                | 継続             | 子育て支援課 | 子育てカレンダーを毎月配布、市HPに掲載した。H25年度子育てハンドブックを作成し、配布した。         | B              | 利用者の意見を聞きながら、見やすくわかりやすい内容となるような情報提供を行う。 | 継続        |

施策の方向性 3 障がい児施策の充実

| No.  | 具体的施策   | 継続<br>拡充<br>新規 | 担当課                  | 25年度 取り組み状況<br>(実施の有無、成果、進捗状況)   | 25年度末<br>時点の評価 | 今後の課題・方向性   | 今後の<br>予定 |
|--|---|----------------|----------------------|--|----------------|---|-----------|
| ◆重点課題 1 早期発見・早期療育支援体制の充実 評価指標 (A: 計画を上回って実施、B: 計画通り実施、C: 事業の対象がなかった、D: 未実施だが進捗した、E: 未実施) |   |                |                      |  |                |   |           |
| 297  | 妊婦及び乳幼児に対する健康診査、訪問活動、地域子育て支援拠点施設などとの連携による指導の充実                      | 拡充             | 健康課<br>福祉課<br>子育て支援課 | 妊婦及び乳幼児に対する健康診査、訪問活動において地域子育て支援施設等と連携をし、それぞれのフォロー教室での状態把握や、育ちのサポート事業を中心に発達に課題のある子の早期発見、早期発達支援を行った。 | B              | 希望のある園に対して育ちのサポート事業を実施する。また、発達支援室が、1歳6か月児健診、3歳児健診、それぞれのフォロー教室などに従事して直接相談に対応するなど、連携の強化を図る。 | 継続        |
| 298  | 県立総合療育訓練センター、県立酒田高等学校、山形大学など専門療育機関との円滑な連携による、適切な医療及び医学的リハビリテーションの提供 | 継続             | 福祉課<br>健康課<br>子育て支援課 | 育ちのサポート事業等で受けた相談事例に対して、関係する医療や療育、教育機関と必要に応じて情報交換やつなぎの支援を行った。                                       | B              | 発達支援室において必要に応じて関係機関と協力し支援していきたい。  | 継続        |

|     |   |    |        |   |   |                         |    |
|-----|---|----|--------|---|---|-------------------------|----|
| 299 | 保育士や幼稚園教諭、地域子育て支援拠点施設などの職員の知識習得のための研修会や学習会の充実 | 拡充 | 子育て支援課 | 関係機関の実施する研修事業の周知を協力を図った。職員の情報向上のために他の機関で実施する研修会に参加した。 | B | 引き続き研修機会を捉えて積極的に参加していく。 | 継続 |
|-----|---|----|--------|---|---|-------------------------|----|

◆重点課題 2 発達障がいに関する支援と連携強化 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施)

|     |  |    |                               |  |   |   |    |
|-----|--|----|-------------------------------|--|---|---|----|
| 300 | 相談窓口機能の周知と保健、医療、福祉、教育などの関係機関の共通理解による連携強化 | 拡充 | 福祉課<br>健康課<br>子育て支援課<br>学校教育課 | 発達支援室にて常時相談できる窓口を明確化し、適宜相談体制を強化して、来所や電話の相談に対応した。相談窓口の周知については、関係各課で連携し、広報、ホームページ、子育てハンドブックなどにより行なっている。また、個別のケース検討会等により関係機関との連携を図っている。 | B | 発達支援室にて随時相談できる体制を継続していくとともに、関係機関や関係課の連携を強化していく。また、相談窓口の周知方法を充実させる。                              | 継続 |
| 301 | 臨床心理士などによる保育園、幼稚園訪問を実施します。(育ちのサポート事業など)  | 拡充 | 福祉課<br>健康課<br>子育て支援課          | 育ちのサポート事業を中心に、発達支援室と連携して担当保健師が保育園幼稚園訪問を実施し、発達に課題のある子の早期発見、早期発達支援を行った。  | B | 保育園・幼稚園への訪問回数を多く取って欲しい、一層の指導、助言をして欲しいという要望があり、発達支援室を開設し、発達支援事業の拡充を図る。                           | 継続 |
| 302 | 関係者の資質向上のための研修会や学習会の充実                   | 拡充 | 福祉課<br>健康課<br>子育て支援課          | 育ちのサポート研究会、特別支援コーディネーター養成講座、園内事例検討会、こんにちは赤ちゃん訪問従事者研修会、発達障がい児支援事業従事者研修会を開催するとともに、関係者や施設職員の積極的参加を促し、資質向上を図った。                          | B | 研修会などを系統立てて、計画的に実施する。また、最新の情報や目的に合った内容にしていく。  | 継続 |
| 303 | 巡回相談員やカウンセラーの充実                          | 拡充 | 福祉課                           | 巡回相談員との情報交換を定期的に行い連携を強化してきた。直接相談のあった学齢期のお子さんに対して学校教育課や巡回相談員と協力しながら相談支援を行った。  | B | 現状で実施している情報交換会や随時の連携を継続する。  | 継続 |
| 304 | 市民への発達障がいについての適切な情報提供と知識の啓発              | 継続 | 福祉課                           | 発達支援講演会やペアレント・トレーニング(学校教育課と共催)を開催した。   | B | 発達支援講演会、ペアレントトレーニングの開催を継続する。  | 継続 |
| 305 | 幼児期から小・中学校への継続した支援体制の整備                  | 継続 | 福祉課<br>健康課<br>子育て支援課<br>学校教育課 | 乳幼児健診、家庭訪問、健康相談、健康教育等を実施した。育ちのサポート事業対象児の入学する小学校への情報提供と引き継ぎを行った。  | B | 各小中高と課題のあるお子さんの相談を受けることにより、連携を図っていく。また、学校においては、学校教育の重点として各校にさらなる徹底をお願いし、個別の支援計画、個別の指導計画等の活用を図る。 | 継続 |

◆重点課題 3 障がい児支援サービスの充実 評価指標 (A:計画を上回って実施、B:計画通り実施、C:事業の対象がなかった、D:未実施だが進捗した、E:未実施)

|     |  |    |               |   |   |  |    |
|-----|--|----|---------------|---|---|--|----|
| 306 | はまなし学園の発達支援及び子育て支援機能の充実  | 拡充 | 子育て支援課<br>福祉課 | 障がい福祉サービス給付を行い、障がい児福祉の向上と保護者の負担軽減を図った。障がい児の年中活動の場を確保し、家族の就労支援や一時的な休息を目的に、サービス事業所において障がい児の見守りや生活支援等を行った。また、個別支援、集団支援、交流保育などの児童発達支援や小集団、親子通園による療育支援を行ったほか、事業の周知と支援のつなぎに協力をした。 | B | 適切な療育が行われているが、今後も職員の資質向上等に努めていく必要がある。  | 継続 |
| 307 | はまなし学園と県立総合療育訓練センターなど関係機関との連携による地域療育支援ネットワークの充実                  | 拡充 | 福祉課<br>子育て支援課 | 庄内保健所主催の療育連絡会等でネットワークを強化してきた。また個別ケース検討や研修を行い、連携の強化を図った。   | B | 会議等への参加を通してネットワークの拡充に努める。  | 継続 |
| 308 | はまなし学園での児童発達支援事業や日中一時支援の実施と、サービス事業者が行う障がい児通所給付への支援と児童デイサービス制度の周知 | 拡充 | 福祉課<br>子育て支援課 | 障がい福祉サービス給付(児童発達支援事業)を行い、障がい児福祉の向上と保護者の負担軽減を図った。障がい児の年中活動の場を確保し、家族の就労支援や一時的な休息を目的に、サービス事業所において障がい児の見守りや生活支援等を行った。子育てハンドブックで、児童デイサービスの実施団体や、はまなし学園の周知を行った。                   | B | 適切な療育が行われているが、今後も職員の資質向上等に努めていく必要がある。一方、サービスの利用につなげるためには保護者の理解を得ることが必要であるため、一層の周知に努める。 | 継続 |
| 309 | 障がいの状況に応じた適切な補装具、日常生活用具の給付支援の実施                                  | 継続 | 福祉課           | 身体障がい児等に対し、障がい及び程度により身体機能を補うための補装具や日常生活を容易にするための用具を給付した。  | B | 障がい児の状態に合った補装具、日常生活用具を給付していく。  | 継続 |

|   |                                       |    |                |   |   |  |    |
|---|---------------------------------------|----|----------------|---|---|--|----|
| 310   | 特別児童扶養手当、心身障がい児養育手当の適切な給付             | 継続 | 福祉課            | 障がいを持つ20歳未満の児童を養育する保護者へ療育の負担を軽減するために支給した。                                       | B | 他の手当と合わせ適切な給付を行う。                                    | 継続 |
| 311   | 公共施設や利用者数の多い施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進 | 継続 | 福祉課<br>※ 都市計画課 | 未実施（H25は補助事業なし）<br>日和山公園の改修整備において、車イスやベビーカーでの移動の利便性、安全性の向上に向けた歩行空間のバリアフリー化を図った。 | B | 公園の大規模改修に合わせてバリアフリー化を行っていく。                          | 継続 |
| 312   | 障がい児を対象とした水泳教室などのスポーツ教室の実施            | 継続 | 文化スポーツ振興課      | 障害を持つ幼児から中学生を対象に、教室を開催  | B | 継続して開催する。  | 継続 |
| 313   | 保育園などでの障がい児の受け入れの推進と受け入れのための環境整備の充実   | 拡充 | 子育て支援課         | 法人立保育園18箇所、市立保育園9園で障がい児等を受け入れた。   | B | 障がい児受け入れ保育所への財政的支援と保育士に対して障がい児に関する研修への参加を呼びかける。      | 継続 |
| 314   | 学童保育所における障がい児の受け入れの推進（再掲）             | 継続 | 子育て支援課         | 学童保育所4か所で障がい児を受け入れた。  | B | 障がい児受け入れへの財政的支援と指導員に対して障がい児に関する研修を実施する。              | 継続 |
| ◆重点課題 4 特別支援教育の充実 評価指標（A：計画を上回って実施、B：計画通り実施、C：事業の対象がなかった、D：未実施だが進捗した、E：未実施） |                                       |    |                |   |   |  |    |
| 315   | 特別支援学級と通常学級の交流、居住地学校との交流の推進           | 継続 | 学校教育課          | 研修会を開催すると共に、各学校で学習内容に応じて実施した。   | B | 研修会を開催すると共に、各学校において学習内容に応じて実施を推進していく。                | 継続 |
| 316   | 特別支援教育に対する理解の推進                       | 継続 | 学校教育課          | 特別支援教育学級担当者や研修会、特別支援コーディネーターを中心とした校内研修会を実施した。                                   | B | 特別支援学級担当者や研修会、教育相談研修講座への参加を呼びかけ、特別支援教育への理解が深まるようにする。 | 継続 |
| 317   | 県立酒田特別支援学校を中心とした支援の充実                 | 拡充 | 学校教育課          | 就学指導に関わる児童についての教育相談を依頼した。特別支援学校長に研修会の助言者としておいていただき、連携の大切さについて指導していただいた。         | B | 酒田特別支援学校のセンター機能が発揮できるよう連携を推進していく。                    | 継続 |

<注釈> 担当課の所管変えによる旧担当課名を見え消しし、新担当課を「※」で表示した

## 子育て支援行動計画 数値目標の状況(平成25年度)

### ◆特別保育、学童保育、子育て支援拠点施設等に関する数値目標

| 区分                  | 事業名                         | 平成26年度<br>数値目標          | 平成25年度<br>実施状況  | 平成21年度<br>実施状況   | 説明(25年度)   |
|---------------------|-----------------------------|-------------------------|---|--|--|
| 夜間帯の保育サービス          | 延長保育事業<br>※開所時間が11時間を超えている園 | 18か所<br>(2か所 増)         | 19か所<br>(1か所 増)<br>7:00~18:30 6園<br>7:00~19:00 7園<br>7:30~19:00 4園<br>7:15~19:00 2園 | 16か所<br>7:00~18:30 5園<br>7:00~19:00 6園<br>7:30~19:00 3園<br>7:15~19:00 2園 | 多様な就労形態や就労時間の延長などに対応するため、通常の保育時間から時間を延長して保育を行う事業。本市においては、認可保育園33園の内、19園で実施。  |
|                     | 夜間保育事業                      | 1か所<br>(1か所 増)          | 未実施   | 未実施  | 多様な就労形態に対応するため、夕方から夜間(午後9時~10時頃)まで、乳幼児を預かる事業。特に夜間保育所(午前11時~午後10時)については、ニーズや財源等の運営面での課題が多く、実施は困難。   |
| 休日保育事業              |                             | 1か所<br>(1か所 増)          | 未実施   | 未実施  | 多様な就労形態に対応するため、日曜や祝日の保護者の勤務等により家庭での保育が困難な場合に乳幼児を保育園で預かる事業。モデル園として1園実施を今後検討。  |
| 病児・病後児保育事業          | 補助該当施設数                     | 4か所<br>(1か所 増)          | 4か所   | 3か所  | 病後児とは、病気は回復しつつあるものの集団での保育が困難な児童で、保護者が就労等で保育ができない場合に、保育園や医療機関などで一時的に預かる事業。<br>実施にあたっては、一定の施設整備のほか、看護師と保育士の配置が必要。  |
|                     | 病児病後児対応型                    | 1か所                     | 1か所   | 未実施  |  |
|                     | 体調不良児対応型                    | 3か所                     | 3か所   | 3か所  |  |
|                     | 病後児対応型                      | 各園での軽度の病児、病気回復期児童の対応の検討 | 1か所<br>(平田保育園)  | 1か所<br>(平田保育園)   |  |
| 一時預かり事業             |                             | 12か所<br>(1か所 増)         | 17か所<br>(2か所 増)   | 11か所   | パートタイムの臨時的就労や保護者の病気、介護、冠婚葬祭などのほか、私事などの場合に保育園などで一時的な預かりを行う事業。<br>現在、認可保育園で16か所、つどいの広場で1か所実施。  |
| 市基準<br>一時預かり事業(保育園) | 10か所                        | 8か所                     | 4か所   |  |  |
| 園独自<br>一時預かり事業(保育園) |                             | 8か所                     | 6か所   |  |  |
| その他施設               | 2か所                         | 1か所                     | 1か所   |  |  |
| 放課後児童健全育成事業         |                             | 22か所<br>(4か所 増)         | 21か所<br>(1か所 増)   | 18か所   | 保護者が就労等で放課後に家にいない児童等に対して、遊びや生活の場所を提供する事業。<br>現在、21か所の小学校区で開設。今後、未設置地区への設置を検討する。  |
| 地域子育て支援拠点事業         |                             | 9か所<br>(1か所 増)          | 8か所   | 8か所  | ○児童センター 1か所<br>(交流ひろば内<br>親子ふれあいサロン)<br>○子育て支援センター 5か所<br>(酒田、八幡、松山、平田、西荒瀬)<br>○つどいの広場 1か所<br>(委託:NPO法人にこっこ)<br>○児童館 1か所<br>(升田児童館)<br>拠点施設が近隣にない地域への設置を検討 |
| 児童センター<br>子育て支援センター | 6か所                         | 6か所                     | 6か所   |  |  |
| つどいの広場              | 2か所                         | 1か所                     | 1か所   |  |  |
| 類似施設(升田児童館)         | 1か所                         | 1か所                     | 1か所   |  |  |
| ファミリーサポートセンター事業     |                             | 1か所                     | 1か所   | 1か所  | 多様な就労形態や育児に対するニーズに対応するため、会員制の相互援助組織。   |

## 子育て支援行動計画 具体的施策の状況(平成25年度)

◆具体的施策の平成25年度末時点での進捗状況について、各施策の主担当課が5段階で評価を行った。

| 具体的施策のH25年度末評価 |               | うち重複を除く     |             |
|----------------|---------------|-------------|-------------|
| 計画に記載された事業数    |               | 317         | 286         |
| 評価             | A: 計画を上回って実施  | 8 (2.5%)    | 8 (2.8%)    |
|                | B: 計画通り実施     | 299 (94.3%) | 269 (94.1%) |
|                | C: 事業の対象がなかった | 4 (1.3%)    | 4 (1.4%)    |
|                | D: 未実施だが進捗した  | 4 (1.3%)    | 3 (1.0%)    |
|                | E: 未実施        | 2 (0.6%)    | 2 (0.7%)    |

※Cの例: ベビーカーでの移動の利便性、安全性の向上に向けた歩行空間などのバリアフリー化の促進を行っているが、平成25年度については交差点改良、道路改良等における歩道改修(バリアフリー含む)の例該当箇所がなかった。

※Dの例: 地域子育て支援拠点施設などへの子育てアドバイザー(仮)の配置について、検討が必要。

| 計画に記載された事業数<br>(重複を除く) |               | 新規事業       | 継続事業        | 拡充事業        | 合計          |
|------------------------|---------------|------------|-------------|-------------|-------------|
|                        |               | 22         | 153         | 111         | 286         |
| 評価                     | A: 計画を上回って実施  | 0 (0.0%)   | 3 (2.0%)    | 5 (4.5%)    | 8 (2.8%)    |
|                        | B: 計画通り実施     | 17 (77.3%) | 147 (96.0%) | 105 (94.6%) | 269 (94.1%) |
|                        | C: 事業の対象がなかった | 0 (0.0%)   | 3 (2.0%)    | 1 (0.9%)    | 4 (1.4%)    |
|                        | D: 未実施だが進捗した  | 3 (13.7%)  | 0 (0.0%)    | 0 (0.0%)    | 3 (1.0%)    |
|                        | E: 未実施        | 2 (9.0%)   | 0 (0.0%)    | 0 (0.0%)    | 2 (0.7%)    |

◆計画期間後半に向けた方向性

- ・A,Bの評価となったものについても、事業効果の拡大に向けて引き続き取り組みながらも将来的に見込まれる課題について検討していく。
- ・C,Dの評価となったものについては、事業の妨げとなっている課題の解消に向けて検討・取り組みを行い、期間内の事業実施を目指す。